

令和 7 年度使用中学校用教科用図書
調査報告書

令和 6 年 7 月
伊賀採択地区協議会

教科用図書採択地区における中学校で使用する教科用図書の採択基準

令和7年度中学校において使用する教科用図書の採択にあたっては、下記の基準によるものとする。

記

- 1 採択の公正確保を期すること。
- 2 教科用図書採択協議会の概要を公表するなど、開かれた採択に努めること。
各採択地区の教科書展示会において見本本についてのコメントを求めるなど、保護者等の声を参考にすること。
- 3 「教科用図書採択地区協議会規約例」を参考にし、採択地区内の市町等教育委員会が十分協議すること。
- 4 中学校学習指導要領（平成29年3月31日 文部科学省告示第63号）の趣旨を踏まえること。
- 5 従前の採択教科用図書の使用結果を適正に評価するとともに、当該採択地区内の中学校教育の実情を十分勘案すること。
- 6 県教育委員会が作成する「令和7年度使用中学校教科書選定に関する参考資料」を活用すること。
- 7 採択事務の遂行に当たっては、教科用図書の内容についての十分な調査研究を行うこと。
- 8 採択結果及びその理由をはじめとする採択に関する情報の積極的な公表に取り組むこと。

令和7年度使用中学校用教科書の発行者別一覧

発行者番号	発行者名	略称	国語	書写	社会 (地理的分野)	社会 (歴史的分野)	社会 (公民的分野)	地図学	数学科	理科	音楽 (一般)	音楽 (器楽合奏)	美術	保健体育	技術・家庭 (技術分野)	技術・家庭 (家庭分野)	英語	道徳	各発行者の種目数
2	東京書籍	東書	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	13
4	大日本図書	大日本							○	○				○					3
6	教育図書	教図													○	○			2
9	開隆堂出版	開隆堂											○		○	○	○		4
11	学校図書	学図							○	○									2
15	三省堂	三省堂	○	○													○		3
17	教育出版	教出	○	○	○	○	○		○	○	○	○					○	○	11
27	教育芸術社	教芸									○	○							2
38	光村図書出版	光村	○	○									○				○	○	5
46	帝国書院	帝国			○	○	○	○											4
50	大修館書店	大修館												○					1
61	新興出版社 啓林館	啓林館							○	○							○		3
81	山川出版社	山川				○													1
104	数研出版	数研							○										1
116	日本文教出版	日文			○	○	○		○				○					○	6
224	Gakken	学研												○				○	2
225	自由社	自由社				○	○												2
227	育鵬社	育鵬社				○	○												2
229	※学び舎	学び舎				○													1
232	あかつき教育図書	あか図																○	1
233	日本教科書	日科																○	1
236	令和書籍	令書				○													1
各種目の発行者数			4	4	4	9	6	2	7	5	2	2	3	4	3	3	6	7	71

※学び舎の教科書見本の送付はありません。

目 次

〈1〉 国語	・ ・ ・ ・ ・	1 ～ 1 0
〈2〉 書写	・ ・ ・ ・ ・	1 1 ～ 1 6
〈3〉 社会（地理的分野）	・ ・ ・ ・ ・	1 7 ～ 2 2
〈4〉 社会（歴史的分野）	・ ・ ・ ・ ・	2 3 ～ 3 8
〈5〉 社会（公民的分野）	・ ・ ・ ・ ・	3 9 ～ 4 6
〈6〉 地図	・ ・ ・ ・ ・	4 7 ～ 5 0
〈7〉 数学	・ ・ ・ ・ ・	5 1 ～ 5 8
〈8〉 理科	・ ・ ・ ・ ・	5 9 ～ 6 4
〈9〉 音楽（一般）	・ ・ ・ ・ ・	6 5 ～ 6 8
〈10〉 音楽（器楽合奏）	・ ・ ・ ・ ・	6 9 ～ 7 2
〈11〉 美術	・ ・ ・ ・ ・	7 3 ～ 7 6
〈12〉 保健体育	・ ・ ・ ・ ・	7 7 ～ 8 2
〈13〉 技術・家庭（技術分野）	・ ・ ・ ・	8 3 ～ 8 6
〈14〉 技術・家庭（家庭分野）	・ ・ ・ ・	8 7 ～ 9 0
〈15〉 英語	・ ・ ・ ・ ・	9 1 ～ 9 8
〈16〉 道徳	・ ・ ・ ・ ・	9 9 ～ 106

※各種目、発行者番号順に綴じています。

国語

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい国語
1 取扱内容	言葉を適切に使うための「知識及び技能」思いや考えを伝え合うための「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような内容が工夫されている。また、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう、各教材の「見通す」「振り返る」で学習の流れが構築されている。教材内容も各領域のバランスがよく、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・長く読み継がれてきた古典教材が取り上げられており、資料も充実している。また文学作品においても、各学年に名作が配列されるとともに、現代小説や詩歌がバランス良く選択されている。 ・説明文においては、科学的探究、地球環境、安全・防災、情報リテラシーなど、多様なテーマが取り上げられており、「読み比べ」や「図表との関連」などの工夫がみられる。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、目標や学習の流れが明示されており、協働的学びの場面が多く設定されている。 ・「怪盗 X からの予告状」を文法を活かして解釈するなど、興味・関心を引く題材が設定されている。 ・物語文と比較し、説明文の比率がやや高いことが気になる。
3 内容の程度	・各教材の文章の長さや読解の難易度については、各学年の発達段階や学習内容に応じた適切なものとなっている。例えば、学年はじめの 1 単元では、1 年次が詩、2 年次が短歌、3 年次が俳句と、発達段階に応じて扱われており、鑑賞とともに創作（書くこと）の学習活動となっている。また、1 年生の単元前の学習では、詩につづき「朗読の世界」という教材が配置されており、小学校から中学校へのつながりの中で、導入として、音読の楽しさ、大切さが学べる工夫がされている。 ・説明文については、身につける「言葉の力」が、3 年間を見通して系統的な内容となっている。
4 内容の構成及び配列	・本編と資料編の二部構成となっている。本編では「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の必修の学習内容が扱われている。加えて「学びを支える言葉の力」として「情報と論理の学び」「文学、対話の学び」、文法事項が配列されている。特に「情報と論理の学び」では、身近な例を題材にして、情報の扱い方が具体的に説明されている。 ・資料編は、本編の教材を深めたり補足したりする資料や伝統文化に親しむ資料、言語活動に必要な知識などで構成されており、学びを広げたり深めたりできるよう工夫されている。資料の量がやや少ない。 ・各単元の 1 ページ目のカラー写真と詩歌が、イメージを広げ、深める働きをしている。
5 創意工夫	・教科書内の QR コンテンツでは、授業の導入に活用できるものや活動の助けになるもの、学力の定着に役立つ練習問題等、個別最適な学びをサポートするコンテンツが用意されている。 ・各学年の巻頭折込には「未来を考えるための九つのテーマ」が示されており、各教材末に、関連するテーマが明示され、テーマについて考えを深める際に活用できるよう工夫されている。

	・「てびき」では、上段には学習目標、教材を読み解くための学習の流れが明示され、これからの学習に生かせるような振り返りができるよう工夫されている。下段の「言葉の力」「広がる言葉」では、教材との関連から言葉にこだわった視点での解説や練習問題が取り入れられている。
6 使用上の便宜	・1年（301 ページ、528 g）、2年（305 ページ、535 g）、3年（317 ページ、554 g） ・資料が二次元コードに移されていることで、ページ数が削減されている。 ・字が大きく見やすい。また、読みやすい字体で書かれており、書き文字に近づけた明朝体などの工夫が見られ、書き方や画数が分かりやすい配慮がされている。 ・「読むこと」の教材では各行の下に数字と点が記されており、行を数えやすい。 ・小学校で習っていない漢字には、教材の初出箇所にふりがながつけられている。
7 その他	・表紙絵は、自然とともにある人と人との触れ合いやコミュニケーションがテーマとなっている。また、教科書内に登場するキャラクターに多様性を持たせ描かれている。ただ、キャラクターの会話で構成されている教材については、文字が多く、やや読みにくさを感じる。
総合的な評価	◎【適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語
発行者名（番号）・教科書名	三省堂（15） 現代の国語
1 取扱内容	知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、学びに向かう力・人間性の養成など、中学校で求められる社会生活に必要な国語の資質・能力を育成できるよう配慮されており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・俳句、現代短歌、和歌、古文、漢詩、漢文などが幅広く取り上げられており、言語文化の継承、発展やその意義を考えることができるよう適切に配置されている。また、物語文と説明文の量的バランスがよい。最近のアニメ映画と和歌の関係についてのコラムや人気歌手の歌詞なども取り上げられており、興味・関心を高める題材が選択されている。 ・「主体的・対話的で深い学び」に対応した教材が多く、各学年初めの単元には「グループディスカッション」が設定されている。また、協働的な学びによって、ものの見方を広げ、考えを深めることができるよう、「学びの道しるべ」が随所に取り入れられている。「学びの道しるべ」では目標から振り返りまでの流れが明示されており、まとめでは「書く力」に重点が置かれている。 ・文学的文章では、他者との関係や人間の生き方、社会について描かれた文章が多く、感性や想像力を育む教材となっている。また、説明的文章では、環境、平和、共生、情報などの現代的な課題が扱われており、論理的思考力や批判的思考力を高める内容となっている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、学年の発達段階に応じた教材が選択されている。「書くこと」では、「読むこと」教材と関連づけることで、効果的な学習指導ができるよう工夫されている。 ・文法については1年生で副詞、連体詞、接続詞、感動詞を含む活用のない自立語までが学習内容となっており、3年間を見通したときバランスがよい。
3 内容の程度	・各教材の文章の長さや読解の難易度については、各学年の発達段階や学習内容に応じた適切なものとなっている。例えば、第1学年では、1単元で、読む楽しさを味わえる教材が配列されており、2単元の説明的文章では、説明文教材の直前に「読み方を学ぼう」と題し、小学校で学んだ説明文の読解の基礎・基本を確認できるように工夫されているなど、小学校からの円滑な接続が意図されている。さらに、学年が進むにつれ、ものの見方を広げることや生き方を考えさせることなど、より深く考えることができる教材内容となっている。 ・基礎的な重要事項は繰り返して提示されており、言葉の力の定着のための工夫がされている。
4 内容の構成及び配列	・知識、技能を習得する学習と、思考力、判断力、表現力等を育成する学習とが、バランスよく適切に配分されている。 ・各学年の発達段階や学校生活、行事、季節感に考慮した教材配列になっている。また、第1学年から第3学年まで、単元の系統性が明確であり、学びの積み重ねが実感できるよう工夫されている。 ・本編と資料編の二部構成になっている。本編では、目次で標準的なカリキ

	ュラムが提示されている。資料編では、「読書の広場」「社会生活に生かす」「参考資料」の3系統により、さまざまな場面で活用できる実践的知識や具体的な学び方がまとめられている。「読書の広場」では、多様なジャンルの書籍が幅広く紹介されている。
5 創意工夫	・教材ごとの「つきたい力」「目標」「学び方」が整理されており、「学びの道しるべ」等を活用することで、生徒も教師も「何をどう学ぶのか」がよく分かるよう工夫されている。 ・教科書内の二次元コード参照先のサイトには、「動画・音声」「デジタルドリル」「参考資料」など、個別最適な学びや協働的学びをサポートするコンテンツが用意されている。 ・表紙や挿絵の色合いが優しく、カラーユニバーサルデザインの観点から配色が工夫されている。また、本文の内容をイメージしやすいイラストとなっている。 ・「語彙を豊かに」では、教材内に使用されている言葉をきっかけに、関連する様々な語句を取り上げ、言葉のおもしろさや決まりに気づき、興味、関心を高めるとともに、語彙の質と量の両面を豊かにする工夫が見られる。 ・「思考の方法」には「順序立てる」「比較する」「分類する」などの思考方法が、各教材の読み方と関連づけて示されている。 ・巻末の「読み方を学ぼう」が、図解しながら、とても分かりやすく整理されており、充実している。 ・「情報を関連づける」に記載されたデータやグラフがとても分かりやすい。また、複数の情報を関連づけて読み取る工夫がされている。
6 使用上の便宜	・1年（359 ページ、587 g）、2年（359 ページ、586 g）、3年（359 ページ、587 g） ・字が大きく見やすい。余白もあり、全体的にゆとりを感じる。 ・読みやすい字体で書かれており、明朝体、ゴシック体、教科書体が適切に使い分けられている。また、画数や点画の方向等に誤解が生じないよう配慮されている。識別しやすい色使い。 ・「学びの道しるべ」が見開きページとなっており、学習の流れを上段に、参考となる情報が下段に示されており、情報がわかりやすく整理されている。
7 その他	・表紙の絵と表紙を開いたページの絵が関連しており、詩の内容ともリンクしている。内容も「さあ、今から学ぼう」という前向きな気持ちになる工夫があると思う。 ・ページが開きやすい工夫がされている。
総合的な評価	◎【最も適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 伝え合う言葉 中学国語
1 取扱内容	国語による理解力や表現力を育成し、伝え合う力、豊かな言語感覚を養う内容となっている。また、言葉を通してものごとを的確に理解し、論理的に考え、表現する能力を高められるよう配慮されており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域のバランスも良く、「環境教育・自然保護」「国際協調や平和」「安心・安全・防災」「情報活用」等、現代的な課題が多く取り上げられている。一方で、「豊かな人間性・社会性」「生命の尊重」「伝統的な言語文化」「日本の伝承」といった国語科の「不易」ともいえる教材も、しっかり配列されている。 ・「情報・メディアと表現」では、実用文としての広告を読んで紹介文を書くなど、自主的に学習内容を活用する題材が設置されている。 ・説明文に比べて、物語文の扱いが量的にやや少ない。
3 内容の程度	・1年教科書では、巻頭には、小学生にもなじみが深い金子みすゞの詩が配列されており、さらに「学びをひらく」の単元では、「言葉と出会う」「聞くということ」など、中学校の国語学習を展望するような教材が設けられ、小中の学習を円滑に展開できる配慮がされている。 ・一方で、小川洋子や川上弘美、村上春樹など、高等学校でも多く取り上げられている執筆者の作品が、3年教科書を中心に配列されており、高等学校への円滑な展開が意図されていることが分かる。
4 内容の構成及び配列	・本編と解説編、言葉の自習室の三部構成となっている。本編では「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の必修の学習内容が扱われている。加えて「漢字の広場」「文法の小窓」「言葉の小窓」が配列されている。 ・解説編は言葉と文法について、言葉の自習室は、本編の教材を深めたり補足したりする教材や伝統文化に親しむ資料で構成されており、学びを広げたり深めたりできるよう工夫されている。 ・「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の涵養という国語科の目標を達成するため、各領域がバランスよく構成、配列されている。 ・単元ごとに「学習活動の流れ」が設定されており、対話的な学びを通して学習がまとめられるよう工夫されている。 ・漢文について、2年生で「論語」、3年生で「漢詩」という配列になっており、2年生では複雑な訓読文を扱いにくい。 ・2年生での「短歌」がカリキュラムの後半に配列されており扱いにくい。
5 創意工夫	・巻頭の「言葉の地図」で、この教科書での学び方が明示されている。 ・教材文の前に、文章がどのように書かれているかを知り、文章の「読み方」を学ぶ「学びナビ」が設けられ、教材文の読みの観点を明確化し、「みちしるべ」では、「学びナビ」で確認した「読み方」や学習の重点を踏まえて、内容を読み深められるように構成されている。

	・各学年に「四季のたより」を配列し、四季それぞれを取り上げた和歌と俳句によって、日本の言語文化を支えている季節感を感じられるよう工夫されている。 ・教材内容に応じて「まなびリンク」（二次元コード）が設けられ、自学自習に活用できる資料や参考図書・作品、動画・画像資料等が提供されるように配慮されている。 ・「広がる本の世界」で紹介される本は、ジャンルも量も豊富である。
6 使用上の便宜	・1年（352 ページ、586 g）、2年（368 ページ、611 g）、3年（352 ページ、585 g） ・点画など文字学習を考慮した読みやすい字体で書かれている。 ・「読むこと」の教材では各行の下に数字と点が記されており、行を数えやすい。 ・文字が詰まって、小さくなり読みにくい教材がある。
7 その他	・写真、図版、挿絵等は、文章の理解を助ける資料性の高いものや想像を膨らませるイメージ豊かなものなど、効果的に取り上げられている。 ・表紙は、物語を感じさせるイラストが用いられおり、シンプルである。また、多様なキャラクターの会話により、言葉の学びを進められるよう工夫されている。
総合的な評価	○【やや適している】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語
発行者名（番号）・教科書名	光村図書出版（３８） 国語
1 取扱内容	「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性の養成」など、中学校で求められる社会生活に必要な国語の資質・能力が育成できるように内容が工夫されている。また、巻頭に「学習の見通しをもとう」が設けられ、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・和歌、俳句、古文、漢詩、漢文などを幅広く取り上げるとともに、近現代の優れた作品、文章がバランス良く選択されており、言語文化を享受し、新たな創造へとつないでいく内容構成となっている。 ・「書くこと」では説明、レポート、案内文、手紙や電子メールなど、多彩な言語活動が設定されている。 ・「話すこと・聞くこと」については、相手や目的に応じて効果的な話し方、話し合いの仕方を考えて、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫された内容となっている。例えば３年生では、二次元コードで「卒業式の黒板アート」についての話し合いの動画を視聴した後、進行役として意見の整理をするなど、生徒の実生活に近い題材が設定されている。
3 内容の程度	・１年生教科書の「言葉に出会うために」では、小学校から中学校への円滑な接続が意図されており、生徒の学習意欲を向上させる内容となっている。 ・本教材は「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の３領域に対応しており、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」を関連づけながら総合的に学べるものになっている。また、小教材では指導事項を焦点化して学べるよう配置されており、練習問題の要素を加えたものになっている。 ・日本から世界まで幅広い内容の教材が配置されている。また、学習の基盤となる言語能力、課題発見、解決能力等の資質、能力が育成される教材が多い。ただ、やや難解である。
4 内容の構成及び配列	・本編と資料編の二部構成となっている。本編では「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の必修の学習内容が扱われている。加えて「言葉」「漢字」「文法への扉」が配列されている。 ・資料編は、本編の教材を深めたり補足したりする資料や伝統文化に親しむ資料、言語活動に必要な知識などで構成されており、学びを広げたり深めたりできるよう工夫されている。 ・「語彙ブック」の内容が非常に充実しており、語彙力の向上に効果的な資料となっている。
5 創意工夫	・教科書内の QR コンテンツでは、「書くことのミニレッスン」「筆者インタビュー」の他、「文法のワーク」や「国語の力試し」といった練習問題が用意されており、振り返りの学びにもなり、個別最適な学びをサポートする内容となっている。 ・巻頭の「思考の地図」では場面や目的に応じた思考法（考え方）が整理されており、本編との関連もページが明記されている。

	・読み物教材の教材末に配列されている「学びへの扉」では、「捉える」「読み深める」「考えをもつ」の順で、読みのポイントが示されており、見通しを持った学習ができるよう工夫されている。 ・「季節のしおり」には、四季の言葉や詩歌が紹介されており、四季がある日本の文学の特徴に触れることができるよう工夫されている。 ・古典教材の字体に工夫が見られる。
6 使用上の便宜	・1年（341 ページ、587 g）、2年（341 ページ、596 g）、3年（337 ページ、585 g） ・「聞く・話す」「書く」教材の文字がやや小さく、読みにくさとともに難しさを感じる。 ・読みやすい字体で書かれており、書き文字に近づけた明朝体などの工夫が見られ、書き方や画数が分かりやすい配慮がされている。 ・新出漢字については、一教材における漢字提出数に上限が設けられており、生徒に過度な負担がかからないよう工夫されている。 ・写真、グラフ、挿絵等は、文章とあわせ情報として読み取るもの、理解を助けるもの、イメージを広げるものなど、目的によって効果的に活用できるよう工夫されている。
7 その他	・表紙絵は、明るく現代的なデザインとなっている。 ・表紙は、ややざらつきのある風合いのある用紙が使用されている。
総合的な評価	○【やや適している】

書写

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語（書写）
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい書写一・二・三年
1 取扱内容	教育基本法に定める目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める国語科の目標を達成する上において、生徒が書写の基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるとともに、学習したことを生活に広げられ、文字への関心を深めさせるような内容が取り扱われており、より適切かつ効果的である。
2 内容の選択及び扱い	・硬筆の楷書を丁寧に復習でき、更に硬筆で行書をわかりやすく学ぶことができる。 ・学んだことを生活に生かせるような工夫として、「生活に広げよう」で、p 22「手紙を書こうーお礼状」、p 36「年賀状を書こう」 p 39「職場訪問をしよう」など、随所に身近な生活場面に生かせる提案がされているので、主体的で深い学びにつながる学習に適している。
3 内容の程度	・参考作品の語句や文章は、生徒にとって親しみの持てるものである。筆遣いも繊細でのびのびしており、生徒の発達段階に応じたものとなっている。
4 内容の構成及び配列	・楷書の復習に始まり、行書の導入から発展という配列になっているとともに、楷書及び行書の筆遣い、字形の整え方、文字の大きさ、目的に応じた書体の選択、効果的な文字の書き方等が段階的に学習できるようになっており、学習指導上適切かつ効果的である。また、随所に「文字といっしょに」として、伝統的な文字や筆記具、文字文化を取り上げ、書道への興味関心をもたせるようなページの工夫もある。 ・「自分のノートを見直す」が3年生の教材として扱われているが、1年生の方が望ましいと考える。
5 創意工夫	・行書の部首など、ポイントとなる部分の筆順がわかりやすく練習できる。また、各教材に「書写のカギ」として、学習のポイントを焦点化し、効果的・効率的に学習を進めることができる。 ・近年入試で出題されている内容を意識し、「書写テストに挑戦！」を各学年に構成し、生徒が主体的に学習できる工夫がある。
6 使用上の便宜	・A 4 版で他教科とも同じサイズであり、教科書イメージキャラクター等、カラフルさが際立っており、明るい雰囲気での学習するには適していると思われる。ただ、半紙と等倍の手本があれば、比率が捉えやすく空間の実感もしやすいのだが、今回も等倍の手本がない。
7 その他	・二次元コードを利用して、タブレットで運筆等の研究ができるので、一斉授業にも使いやすい。
総合的な評価	教育基本法及び学校教育法に定める目的・目標、学習指導要領に定める国語科の目標を達成する上において、生徒が書写の基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるとともに、書写で培った知識や技能が実生活の中で役立ち、生活を豊かにすることができるような内容が取り扱われている。内容の程度やその構成・配列も適切で、随所に創意工夫が見られ、鮮明な印刷等使用上の便宜も図られている。このことから、【適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語（書写）
発行者名（番号）・教科書名	三省堂（15） 現代の書写一・二・三
1 取扱内容	教育基本法に定める目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める国語科の目標を達成する上において、生徒が書写の基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるとともに、習得した知識・技能が生活の中に生かされ、生活を豊かにさせるような内容が取り扱われており、より適切かつ効果的である。
2 内容の選択及び扱い	・第1学年において、硬筆で楷書を丁寧に復習し、その後、行書の特徴を理解し、毛筆の学習ができる。特に点画についておさえてあり、さらには、p48「筆順の変化」により、楷書と行書の違いが比較により、理解しやすく、毛筆に取り組める。 ・p30「文字の変遷」やp86「書の古典」に触れ、高等学校芸術科書道へつながるよう配慮されている。
3 内容の程度	・教材の中で取り上げられている語句や文章は、明るく、心を豊かにするものとなっている。 ・整った書体、わかりやすい筆遣いは、生徒の発達段階に 応じたものになっている。
4 内容の構成及び配列	・楷書の復習に始まり、行書の導入から発展という配列になっているのに加え、楷書及び行書の筆遣い、字形の整え方、文字の大きさ、目的に応じた書体の選択、効果的な文字の書き方等が段階的に学習できるような内容となっており、学習指導上適切かつ効果的である。 ・p4～5の「この教科書の使い方」にあるように、教科書の構成と流れを示し、目標の確かめから振り返りまでの過程がわかるよう工夫されている。
5 創意工夫	・毛筆の手本については、デジタルコンテンツにより、練習しやすいものとなっている。 ・各教材において、学習の流れが統一されており、毛筆を終えたら、硬筆で繰り返し書いて、学びを確かなものにすることとなっており、生徒が主体的に学習できる工夫がある。
6 使用上の便宜	・A4版で他教科とも同サイズであり、学習指導上適切であると言える。各学年の書き初め用手本が等倍で付けられており、空間のイメージも含めて作品を創造するのに適している。
7 その他	・二次元コードを利用して、タブレット等で運筆の研究ができるので、一斉授業にも使いやすい。ただ、発展的な学習をするためのコンテンツがもう少し多い方が取り組みやすいと考える。
総合的な評価	教育基本法及び学校教育法に定める目的・目標、学習指導要領に定める国語科の目標を達成する上において、生徒が書写の基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるとともに、書写で培った知識や技能が実生活の中で役立ち、生活を豊かにすることができるような内容が取り扱われている。内容の程度やその構成・配列も適切で、随所に創意工夫が見られ、鮮明な印刷等使用上の便宜も図られている。このことから、【適している。】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語（書写）
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 中学書写
1 取扱内容	教育基本法に定める目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める国語科の目標を達成する上において、生徒が書写の基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるとともに、学習したことをさまざまな場面で活用できるような内容が取り扱われており、より適切かつ効果的である。
2 内容の選択及び扱い	・毛筆と同じ文字を硬筆で例示するとともに、p 22 等にあるように「学習を生かして書く」として、同じ要素の他の硬筆文字への発展を促す課題提示をしており、毛筆による書写が硬筆の能力の基礎を養うものとなるよう配慮されている。 ・p 36～37 の「文字の変遷」や、著名な作家や歴史上の人物が残した文字を多く取り上げており、文字の歴史についての理解や、文字文化についての関心を深められ、高等学校芸術科書道へつなげられるよう配慮されている。
3 内容の程度	・参考作品として取り上げられている語句や文章は、生徒にとって親しみのもてるものであり、その書風は自然な筆遣いで学びやすく、発達段階に応じたものとなっている。
4 内容の構成及び配列	・各教材において、毎時間の学習の進め方が「目標」から「学習や日常生活に生かそう」までの 5 段階で学習手順が明確化され、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。また、ノートの書き方の硬筆から始まっており、実生活に役立つ導入として工夫されている。さらに、毛筆を中心に楷書から行書へと進められており、基本点画など筆遣いの基本を学習することの大切さがよくわかる構成である。 ・書道への興味関心を広げるページがたくさんあり、カラー写真も効果的に使われている。
5 創意工夫	・巻末の「楷書行書一覧」は、部首索引なので調べ学習の際、五十音順よりも学習成果を生かせるものとなっている。 ・QR コンテンツの動画により、運筆や筆遣い等がさらによくわかる。
6 使用上の便宜	・左側のページで学習のポイントを確認しながら、右側のページで教材文字を見て毛筆の練習をすることができ、学習指導上適切である。また、各教材の穂先の通り道は朱墨で示し、行書の筆脈を点線で示しており大変わかりやすい。ただ、A 4 版よりワイド版になっており、他の教科書と揃えてカバンに入れにくく、毛筆の練習においても机上に置きにくく、扱いづらい。
7 その他	・「まなびリンク」にアクセスできるよう二次元コードが配置され、タブレットで運筆の研究ができるほか、さまざまな説明もあり、一斉授業や応用を図る補充教材も活用できる。
総合的な評価	教育基本法及び学校教育法に定める目的・目標、学習指導要領に定める国語科の目標を達成する上において、生徒が書写の基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるとともに、学習した事柄をさまざまな場面で活用できるような内容が取り扱われている。また、内容の程度やその構成・配列も適切で、生徒が文字文化に親しみやすいような創意工夫が随所に見られ、使用上の便宜も図られている。このことから、【適している。】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	国語（書写）
発行者名（番号）・教科書名	光村図書出版（38） 中学書写 一・二・三年
1 取扱内容	教育基本法に定める目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める国語科の目標を達成する上において、生徒が書写の基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるとともに、書写で培った力が他教科等の学習場面や生活場面に生かしていけるような内容が取り扱われており、より適切かつ効果的である。
2 内容の選択及び扱い	・硬筆の楷書を丁寧に復習でき、更に中学校で出会う行書にさほど抵抗なく入れるように硬筆の教材が多数設定されている。毛筆は、等倍の手本があって練習のイメージがわかりやすい。 ・p 78 からの「文字を使い分ける」では、書の古典や書の芸術性に触れ、高等学校芸術科書道へつながるよう配慮されている。また、UD フォントを取り上げており、人権感覚を磨くことを意識している。 ・p 109 からの「日常に役立つ書式」では、手紙や実際に書く必要が出てくるであろう書式など実生活に役立つ教材が充実しており、生徒の日常生活や職場体験学習などの学習場面に生かせるよう配慮されている。
3 内容の程度	・参考作品として取り上げられている語句や文章は、生徒にとって親しみの持てるものであり、その書きぶりも生徒の発達段階に応じたものとなっている。
4 内容の構成及び配列	・楷書の復習に始まり、行書の導入から発展という配列となっているとともに、楷書及び行書の筆遣い、字形の整え方、文字の大きさ、目的に応じた書体の選択、効果的な文字の書き方等が段階的に学習できるような内容となっている。 ・「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の三つのステップで見通しをもちながら生徒が主体的に学習に取り組むことができ、学習指導上適切かつ効果的である。
5 創意工夫	・毛筆は、半紙を想定した等倍の手本があるので、空間を意識した作品を書きやすいと思われる。また、デジタルコンテンツを利用することによって、筆遣い等をより練習しやすいものとなっている。 ・冒頭の 27 ページ分が練習帳（「書写ブック」）になっており、別冊として取り外して使用することができる。練習帳の部分だけを提出させてじっくり評価することもできるし、生徒にとっても扱いやすく書きやすい。
6 使用上の便宜	・A 4 版であり、かつ、練習帳が取り外しできる機能性は実態に即しており、学習指導上適切であると言える。
7 その他	・デジタルコンテンツがかなり豊富で、二次元コードを利用して、タブレット等で運筆や筆遣いの研究ができるほか、さまざまな説明もあり、一斉指導にも使いやすい。
総合的な評価	教育基本法及び学校教育法に定める目的・目標、学習指導要領に定める国語科の目標を達成する上において、生徒が書写の基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるとともに、書写で培った知識や技能が他教科等の学習場面に生かせるような内容が取り扱われている。また、内容の程度やその構成・配列も適切で、生徒が文字文化に親しみやすいような創意工夫が随所に見られ、使用上の便宜も図られている。このことから、【最も適している。】

社会

(地理的分野)

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（地理）
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい社会 地理
1 取扱内容	・教育基本法との関連は図られている。 ・学校教育法と学習指導要領の目標に準拠されている。 ・教科、分野の目標を達成する基本事項はもれなく網羅されている。
2 内容の選択及び扱い	・日本の領土について、竹島や尖閣諸島の写真を掲載するとともに北方領土に関する現状や課題等も掲載されている。 ・三重県について、近畿地方と中部地方の節に伊勢市・四日市市の事象を取り上げている。
3 内容の程度	・本文は基礎的・基本的な用語がおさえられるようにわかりやすい文章で表現されている。 ・世界の諸課題を解決する視点として「持続可能な開発目標」が掲載されている。 ・防災教育について、防災・減災の取組を紹介するコーナーを設け、防災や安全に対する意識が高まるように工夫されている。
4 内容の構成及び配列	・写真は 2016 年～2019 年のものが多く、やや古いものが多い ・①導入資料、②学習課題、③本文と図版、コラム・活動等、④「チェック＆トライ」という流れで学習内容が構造化されており、1 時間の授業が見開きで完結できる。 ・「世界の諸地域や日本の諸地域」では、小学校の学習の振り返りを通した「探求学習」が設定されている。 ・「みんなでチャレンジ」のコーナーで主体的・対話的な学びにつながる工夫がされている。
5 創意工夫	・デジタルコンテンツは豊富に用意されている。 ・デジタル教科書において、Google 翻訳が利用できる。 ・図は色合いがやや見にくいですが、グラフに目盛りがついていることで見やすくなっている。
6 使用上の便宜	・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・フラットデザインを取り入れ、凹凸感が少なく、刺激が少ない。
7 その他	・AB 判で、再生紙と植物油インキが使用され、環境に配慮されている。 ・巻末の資料は、用語解説、さくいんとともに世界の主な家畜・鉱産資源・農作物が掲載されている。
総合的な評価	【やや適している】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（地理）
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 中学社会 地理 地域にまなぶ
1 取扱内容	・教育基本法との関連は図られている。 ・学校教育法と学習指導要領の目標に準拠されている。 ・教科、分野の目標を達成する基本事項はもれなく網羅されている。
2 内容の選択及び扱い	・日本の領土について、竹島や尖閣諸島の写真を掲載するとともに北方領土に関する現状や課題等も掲載されている。 ・三重県について、近畿地方と中部地方の節に尾鷲市・志摩市・四日市市の事象を取り上げている。
3 内容の程度	・本文は基礎的・基本的な用語がおさえられるようにわかりやすい文章で表現されている。 ・世界の諸課題を解決する視点として巻頭に「持続可能な開発目標」が掲載されている。 ・防災教育について、地域調査の視点として「地域の防災」「災害から身を守るために」という課題を掲載し、防災や安全に対する意識が高まるように工夫されている。
4 内容の構成及び配列	・写真や図表について、2018 年～2022 年のものが多くやや古い。また、目盛りがないため、グラフが読みにくい ・①導入資料、②学習課題、③本文と図版、「TINK」等、④「確認」「表現」という流れで各章等が構造化されており、1 時間の授業が見開きで完結できる。 ・1 章の前に小学校の学習を振り返る活動があり、中学校との円滑な接続に配慮されている。
5 創意工夫	・デジタルコンテンツは豊富に用意されている。 ・歴史、公民分野との関連性が明記されている。
6 使用上の便宜	・ユニバーサルデザインフォントを使用し、色彩も見やすい。 ・重要語句の途中で改行されている箇所が多くあり、やや見にくい。
7 その他	・AB 判で、再生紙と植物油インキが使用され、環境に配慮されている。 ・巻末の資料は用語解説とさくいんとともに、世界の主な家畜・鉱産物・農作物が掲載されている。
総合的な評価	【やや適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（地理）
発行者名（番号）・教科書名	帝国書院（46） 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
1 取扱内容	・教育基本法との関連は図られている。 ・学校教育法と学習指導要領の目標に準拠されている。 ・教科、分野の目標を達成する基本事項はもれなく網羅されている。
2 内容の選択及び扱い	・日本の領土について、竹島や尖閣諸島の写真を掲載するとともに北方領土に関する現状や課題等も掲載されている。 ・三重県について、近畿地方と中部地方の節に尾鷲市・津市・志摩市・四日市市の事象を取り上げている。
3 内容の程度	・本文は基礎的・基本的な用語がおさえられるようにわかりやすい文章で表現されている。 ・世界の諸課題を解決する視点として「持続可能な開発目標」が掲載されている。 ・防災教育について、全国で行われている防災や減災の取組について記載することで、防災や安全に対する意識が高まるように工夫されている。
4 内容の構成及び配列	・写真や図表の色合いが鮮明で、美しい。また、2020年～2022年の写真が多く、最新の情報が掲載されている。 ・①導入資料、②学習課題、③本文と図版、対話的な学びのためのコラム等、④「確認しよう」「説明しよう」という流れで学習内容が構造化されており、1時間の授業が見開きで完結できる。 ・小学校の学習や歴史分野、公民分野で学ぶ事項が示されている。 ・気候帯の地図と雨温図が同一ページにまとめられており、比較して理解することができるように工夫されている。
5 創意工夫	・デジタルコンテンツは豊富に用意されている。 ・グラフをグレーの枠で囲み、見やすく工夫されている。
6 使用上の便宜	・ユニバーサルデザインフォントを使用している ・写真等の色彩については、大変鮮やかで、見やすくなっている。
7 その他	・AB判で、再生紙と植物油インキが使用され、環境に配慮されている。 ・巻末にさくいんが掲載されている。
総合的な評価	【最も適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（地理）
発行者名（番号）・教科書名	日本文教出版（116） 中学社会 地理的分野
1 取扱内容	・教育基本法との関連は図られている。 ・学校教育法と学習指導要領の目標に準拠されている。 ・教科、分野の目標を達成する基本事項はもれなく網羅されている。
2 内容の選択及び扱い	・日本の領土について、竹島や尖閣諸島の写真を掲載するとともに北方領土に関する現状や課題等も掲載されている。 ・三重県について、近畿地方と中部地方の節に松阪市・尾鷲市・四日市市の事象を取り上げている。
3 内容の程度	・本文は基礎的・基本的な用語がおさえられるようにわかりやすい文章で表現されている。 ・世界の諸課題を解決する視点として「持続可能な開発目標」が掲載されている。 ・防災教育について、防災や減災についての工夫を記載することで、防災や安全に対する意識が高まるように工夫されている。
4 内容の構成及び配列	・写真は2020年～2023年のものが多く、最新の情報が掲載されている。 ・グラフは、目盛りがたくさんつけられていて、見やすく工夫されている。 ・①導入資料、②学習課題とその見方考え方、③本文と図版、「地理＋α」などのコーナー、④確認という流れで学習内容が構造化されており、1時間の授業が見開きで完結できる。
5 創意工夫	・デジタルコンテンツは豊富に用意されている。 ・単元末の確認では、思考ツールを活用して考え、議論できるようになっており、主体的・対話的な学びにつながるように工夫されている。
6 使用上の便宜	・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・写真の色彩は鮮やかである。また、グラフは単色が多く、見やすくする工夫がされている。
7 その他	・AB判で、再生紙と植物油インキが使用され、環境に配慮されている。 ・巻末に用語解説、さくいんとともに、世界の国別・日本の都道府県別の資料などが掲載されている。
総合的な評価	【適している】

社会

(歷史的分野)

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい社会 歴史
1 取扱内容	・学習指導要領をもとに内容が構成されている。 ・各章ごとにその時代の政治的なできごと、民衆の暮らし、その時代の文化を系統立てて簡潔に説明している。 ・時代ごとに海外と日本の関係について説明がされており、日本の文化の成り立ちがわかりやすい。 ・部落差別・男女共同参画・アイヌ・沖縄などについて時代ごとに説明があり、現在も残る人権の諸課題を歴史的な流れを理解しつつとらえることができる。特に部落差別につながる内容については細やかに説明がされている。 ・「解放令」に関する記述が詳細ではないが、水平社に関するコラムは2ページにわたって記載されている。 ・挿図には多くの世界遺産・国宝・重要文化財が使用されており、我が国の文化財に興味を持てるようになっている。
2 内容の選択及び扱い	・中学校歴史を学習するうえで程よい内容といえる。 ・小学校教科書でよくみられる図が使用されており、小学校で学習したことの延長線上にあり授業を進める上で使いやすい。 ・単元の中で重要な語句に太字がされるよう整理されており生徒・教師ともに授業を進めやすい。 ・江戸時代の家制度に関する記述がない。
3 内容の程度	・中学生の学習する量・内容として適している。 ・中学生の用いる国語力に合わせた文章表記となっており、読解しやすいものとなっている。また難読部分についてはふりがな表記がされている。 ・挿図について生徒が興味を持てる物が多く使われており適している。 ・基礎基本の定着に適した内容の程度である。 ・思考ツールなどを用いて、タブレットで整理しつつ、言語化につなげるしくみになっている。
4 内容の構成及び配列	・図、表が整理されて示されており、授業を構成する際に生徒の視線を誘導しやすい。図についてはよく見られるものが多く使われている。 ・「時代の概説」→「民衆の生活の様子」→「文化」という構成がされており、生徒が次の授業で何を学習するのかがわかりやすい。 ・見開き2ページで1単元と設定されており授業を進めやすい。 ・章を貫く問いを中心に、導入（課題）⇒展開（追及）⇒まとめ（ふりかえり）をする流れになっている。 ・ページごとの「チェック&トライ」で授業を構成しやすい作りとなっている。（タブレットでも可能）
5 創意工夫	・用語解説のページがあり、自主学習の手助けとなる。 ・挿図について世界遺産→「世」、国宝→「宝」、重要文化財→「重」と表記されており文化財について理解することができる ・各章の初めに導入として図が多く挿入されており学習活動に利用しやすい。 ・各単元に学習課題が設定されており本時の目標が設定しやすい。 ・UD・カラーユニバーサルデザインを使用しており、見やすい。

	・ 小学校で習った語句が書かれており、小中の流れを意識した工夫がなされている。 ・ QR コードから導入の動画や小学校の学習のクイズが見られる。
6 使用上の便宜	・ 文字の大きさやふりがなが適切である。 ・ 文章量が適当である。 ・ 敬体で文章表記されている。 ・ ユニバーサルデザインフォント(UD フォント)が使用されている。 ・ カラーユニバーサルデザインが採用されており、識別しやすい色や模様が使用されている。 ・ 資料が大きく、クリアである。扱っている資料の種類が多く、考えさせるものも多くてよい。
7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、また、学習した内容からさらに深い学習に繋がられる内容となっているか(探究的)、見開き 2 ページによって 1 時間の構成となっているか、1 時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、特に詳しく取り上げられるといった内容の偏りが無く、全体的に上手くまとめられて作成されている。それには、著作権関係者の幅広い考えや見識が活かされていると感じられた。従って、この教科書は採択される教科書として、【適している】と判断した。

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 中学社会 歴史 未来をひらく
1 取扱内容	・学習指導要領をもとに内容が構成されている。 ・各章ごとにその時代の政治的なできごと・民衆の暮らし・その時代の文化を系統立てて簡潔に説明している。 ・現在も残る人権の諸課題を歴史的な流れを理解しつつとらえることができる。移民など幅広く人権問題についてとらえられている。 ・日本国憲法の単元について前文を掲載するなど、平和について考えさせられる内容となっている。 ・挿図には多くの世界遺産・国宝・重要文化財が使用されており、我が国の文化財に興味を持てるようになっている。（生徒が興味を持てる物が多い） ・世界史に関するコラムもあり、高校の内容への引継ぎを意識した内容である。
2 内容の選択及び扱い	・中学校歴史を学習するうえで程良い内容となっている。 ・単元の中で重要な語句に太字がされるよう整理されており生徒・教師ともに授業を進めやすい。 ・女性の活躍に関する記述が多い。 ・地域に関する事例が取り上げられている。
3 内容の程度	・中学生の学習する量・内容として適している。 ・中学生の用いる国語力に合わせた文章表記となっており、読解しやすいものとなっている。また漢字の多くについてふりがな表記がされている。 ・注釈も多く、わかりやすく本文がまとめられている。
4 内容の構成及び配列	・図、表が多く示されており、授業を構成する際に生徒の視線を誘導しやすい。 ・「時代の概説」→「民衆の生活の様子」→「文化」という構成がされており、生徒が次の授業で何を学習するのがわかりやすい。 ・見開き2ページで1単元と設定されており授業を進めやすい。 ・ザビエル～織田信長までの流れがスムーズである。 ・単元の導入⇒本文⇒ふりかえりのページで構成されており、単元の問いに対して自分なりの答えを出せるように工夫されている。
5 創意工夫	・各章の初めに導入として図が多く挿入されており学習活動に利用しやすい。 ・各単元に学習課題が設定されており本時の目標が設定しやすい。 ・資料を読み取るページがあり、資料から読み取ったことや考えを言語化する工夫がされている。 ・小学校で学習した人物をふりかえられるようにマークをつけ、小中高の連携を大切にしている。
6 使用上の便宜	・文字の大きさやふりがなが適切であり、文章量も適当である。 ・敬体で文章表記されている。 ・ユニバーサルデザインフォント(UD フォント)が使用されている。 ・カラーユニバーサルデザインが採用されており、識別しやすい色や模様が使用されている。 ・ページごとのタイトルが生徒の興味をひきつけるものとなっている。 ・図が大きくて見やすい。

7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、学習した内容からさらに深い学習に繋げられる内容となっているか(探究的)、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、生徒への興味関心を引き立たせる創意工夫がなされている点が多いものの、部落差別や人権問題の記述に関しての内容が、他社の内容にくらべ安易な内容として感じられた。したがって、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【やや適している】と判断した。

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	帝国書院（46） 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
1 取扱内容	・学習指導要領をもとに内容が構成されている。 ・各章ごとにその時代の政治的なできごと・民衆の暮らし・その時代の文化を系統立てて簡潔に説明している。 ・現在も残る人権の諸課題を歴史的な流れを説明している。 ・挿図には多くの世界遺産・国宝・重要文化財が使用されており、我が国の文化財に興味を持てるようになっている。 ・沖縄戦に関するページがあるなど、戦時中に関する資料が多い。また、他国から見た当時の日本や当時の報道に関する記載があり、多面的・多角的に捉えられる。
2 内容の選択及び扱い	・中学校歴史を学習するうえで程良い内容といえる。 ・単元の中で重要な語句に太字がされるよう整理されており生徒・教師ともに授業を進めやすい。 ・琉球・アイヌに関する記述が充実しており、多文化共生の視点で学習を進められる。 ・SDG sを意識した内容が多く、歴史を現在に。現在を将来につなげて考えられるよう工夫されている。
3 内容の程度	・中学生の学習する量・内容として適している。 ・中学生の用いる国語力に合わせた文章表記となっており、読解しやすいものとなっている。また漢字の多くについてふりがな表記がされている。 ・挿図について生徒が興味を持てる物が多く使われており適している。 ・基礎基本が定着しやすい内容ではあるが、少し簡単すぎる面も見られる。 ・地図活用のページ資料があり、地理的な背景をふまえて学習することができる。
4 内容の構成及び配列	・図、表が多く示されており、授業を構成する際に生徒の視線を誘導しやすい。 ・地図について見やすいものが多い。 ・図表の中に見にくいものがみられる。（139ページイワシ漁など） ・章・節の問い⇒本文⇒ふりがえりという構造になっているので、単元のふりがえりをしやすい。 ・アクティブ歴史ではそれぞれのテーマに対して自分の意見や考えをまとめさせる構成となっている。
5 創意工夫	・各章の初めに導入として図が多く挿入されており学習活動に利用しやすい。 ・各単元に学習課題が設定されており本時の目標が設定しやすい。 ・人物索引にふりがながついており検索時に検索しやすいものとなっている。 ・「タイムトラベル」のページがあり、その時代の特色をつかみやすくするための工夫がされている。また各時代の比較もしやすい。
6 使用上の便宜	・文字の大きさやふりがなが適切である。 ・文章量が適当である。 ・敬体で文章表記されている。 ・ユニバーサルデザインフォント(UD フォント)が使用されている。 ・カラーユニバーサルデザインが採用されており、識別しやすい色や模様が

	使用されている。 ・資料を図化したり、資料中に番号・記号を入れたりするなど、資料を読み取りやすいように工夫されていて指導しやすい。
7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、学習した内容からさらに深い学習に繋がられる内容となっているか(探究的)、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、地図の見方に類似した資料提示など工夫があるが、各ページの資料提示の内容やその方法が、他社の教科書に比べるとやや劣っていると判断した。したがって、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【やや適している】と判断した。

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	山川出版社（81） 中学歴史 日本と世界 改訂版
1 取扱内容	・学習指導要領をもとに内容が構成されている。 ・各章ごとにその時代の政治的なできごと・民衆の暮らし・その時代の文化を系統立てて説明している。 ・現在も残る人権の諸課題についての記載は少ない。 ・挿図には多くの世界遺産・国宝・重要文化財が使用されており、我が国の文化財に興味を持てるようになっている。 ・取り扱い内容について深く高校へのつながりがみられる。 ・因果関係を重視した説明がされており、高校との連携が意識された内容である。
2 内容の選択及び扱い	・中学校歴史を学習する上で難しい印象である。 ・単元の中で重要な語句に太字がされるよう整理されている。 ・日本の歴史をより深くつかませるために、世界史の内容が充実している。 ・人権に関する記述も多く、特に女性の活躍を学びとれるようなコラムが充実している。
3 内容の程度	・難読部分についてはふりがな表記がされている。 ・挿図について生徒が興味を持てる物が多く使われている。 ・高校での内容を意識したつくりとなっており、中学校の教科書としては、学習内容も多く難易度も高すぎる。
4 内容の構成及び配列	・図、表が多く示されており、授業を構成する際に生徒の視線を誘導しやすい。 ・系図について人物名が多く示されている。 ・内憂外患と天保の改革をしてから市民革命へ進み、そのながれでペリー来航の学習を行うので、わかりやすい。
5 創意工夫	・各章の初めに導入として図が多く挿入されており学習活動に利用しやすい。 ・各単元に学習課題が設定されており本時の目標が設定しやすい。 ・人物索引にふりがなが配されており検索時に検索しやすいものとなっている。 ・資料集等で補填する必要がないほど資料が豊富で扱いやすい。 ・QRコードで動画を見たり、HPを見たりできる。
6 使用上の便宜	・文字の大きさが他社と比べ小さく中学生としては読みにくい。 ・文章量が多い。 ・常体で文章表記されている。 ・ユニバーサルデザインフォント(UD フォント)が使用されている。 ・カラーユニバーサルデザインが採用されており、識別しやすい色や模様が使用されている。 ・文字が小さいので見づらい。特に索引のページはとても見づらい。
7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、学習した内容からさらに深い学習に繋げられる内容となっているか(探究的)、見開き 2 ページによって 1 時間の構成となっているか、1 時間単位の

	「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、歴史的史料としては他社よりも優れており、内容もより深く考えさせるように意識して作られている。しかし、中学生が学習する歴史的分野の内容としては、非常に難しく学力が高い生徒には適していると思われるが、すべての生徒にとっての教科書としとは扱いにくいと考えられる。したがって、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【やや適している】と判断した。
--	---

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	日本文教出版（116） 中学社会 歴史的分野
1 取扱内容	・学習指導要領をもとに内容が構成されている。 ・各章ごとにその時代の政治的なできごと・民衆の暮らし・その時代の文化を系統立てて簡潔に説明している。 ・時代ごとに海外と日本の関係について説明がされており、日本の文化の成り立ちがわかりやすい。 ・部落差別・男女共同参画・アイヌ・沖縄などについて時代ごとに説明があり、現在も残る人権の諸課題を歴史的な流れを理解しつつとらえることができる。特に部落差別につながる内容については細やかに説明がされている。 ・挿図には多くの世界遺産・国宝・重要文化財が使用されており、我が国の文化財に興味を持てるようになっている。 ・部落問題に関して詳しく記述されている。その他、人権・平和に関する内容も多く記載されている。
2 内容の選択及び扱い	・中学校歴史を学習するうえで程良い内容といえる。 ・小学校教科書でよくみられる図が使用されており、小学校で学習したことの延長線上にあり授業を進める上で使いやすい。 ・単元の中で重要な語句に太字がされるよう整理されており生徒・教師ともに授業を進めやすい。 ・挿図などについて三重県を見られるもの（地租改正一揆・京都の鳥瞰図）や関西の資料が多く使用されており、生徒にとってなじみの深いものとなっている。 ・徳川吉宗・田沼意次・松平定信の政治が2ページでまとめられており、他社に比べて、江戸時代の改革の内容が浅い。（他社は吉宗で2ページ、田沼～2ページの4ページ構成が多い。）
3 内容の程度	・中学生の学習する量・内容として適している。 ・中学生の用いる国語力に合わせた文章表記となっており、読解しやすいものとなっている。また多くの漢字についてふりがな表記がされている。 ・挿図について生徒が興味を持てる物が多く使われており適している。 ・基礎・基本の定着に適した内容である。 ・地域に関連させた内容（伊賀は勝手神社）が多い。
4 内容の構成及び配列	・図、表が整理されて示されており、授業を構成する際に生徒の視線を誘導しやすい。図についてはよく見られるものが多く使われている。 ・「時代の概説」→「民衆の生活の様子」→「文化」という構成がされており、生徒が次の授業で何を学習するのかがわかりやすい。 ・見開き2ページで1単元と設定されており授業を進めやすい。 ・導入⇒本文⇒まとめのページで構成されている。 ・導入の問いに対する疑問や予想を書くポートフォリオがあり、単元の問いを追いながら学習することができる構成となっている。
5 創意工夫	・各編の初めに導入として図が多く挿入されており学習活動に利用しやすい。 ・各単元に学習課題が設定されており本時の目標が設定しやすい。 ・UDだけでなく、カラーユニバーサルデザインが採用されている。 ・SDGsに関する内容にマークをつけるなど、将来を意識した構成となっ

	ている。
6 使用上の便宜	・文字の大きさやふりがなが適切であり、文章量も適当である。 ・敬体で文章表記されている。 ・ユニバーサルデザインフォント(UD フォント)が使用されている。 ・カラーユニバーサルデザインが採用されており、識別しやすい色や模様が使用されている。 ・当時の報道や映像などを動画で見たり、資料を見たりできるQRコードが各ページに載せられている。 ・またタブレットで確認の小テストを行うこともできるなどICTを活用することで便利に活用できる。
7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、学習した内容からさらに深い学習に繋げられる内容となっているか(探究的)、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、各ページに年表が記されており、どの時代の出来事であるかを一目で確認できるような工夫が見られる。また、学習内容については、この教科書の部落問題や人権問題に対する記述に関しては他社と比べると充実した内容であり、生徒に対しても分かりやすく説明されている。そして、地域性にもあった教科書であると考えられる。従ってこの教科書においても、【最も適している】と判断した。

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	自由社（225） 新しい歴史教科書
1 取扱内容	・学習指導要領をもとに内容が構成されている。 ・各章ごとにその時代の政治的なできごと・民衆の暮らし・その時代の文化を系統立てて説明している。 ・時代ごとに日本の文化の成り立ちについて説明がある。 ・人権の諸課題について記載がある。 ・挿図が多く、我が国の歴史に興味を持てるようになっている。 ・部落問題などの人権課題や女性進出に関する記述が少ないため、人権意識に欠ける内容である。
2 内容の選択及び扱い	・中学校歴史を学習するうえで程良い内容といえる。 ・小学校教科書でみられる図が使用されている。 ・単元の中で太字がみられる。 ・神話や国の成り立ち、天皇に関する記述が目立ち、内容に偏りが見られる。 ・戦争に関する記述では「押しつけ憲法」とする記述が目立つ。
3 内容の程度	・中学生の用いる国語力に合わせた文章表記となっており、読解しやすいものとなっている。また難読部分についてはふりがな表記がされている。 ・挿図について生徒が興味を持てる物が多く使われている。 ・古代～近世までは基礎的な内容となっているが、近代～現代は中学生にとって難しい単語が並び、わかりにくい。
4 内容の構成及び配列	・図、表が整理されて示されており、授業を構成する際に生徒の視線を誘導しやすい。図についてはよく見られるものが多く使われている。 ・「時代の概説」→「民衆の生活の様子」→「文化」という構成がされており、生徒が次の授業で何を学習するのかがわかりやすい。 ・見開き2ページで1単元と設定されており授業を進めやすい。 ・欧米諸国の接近から市民革命へと進むので、時代の流れがつかみにくく、スムーズな学習ができるとはいえない。 ・節の番号が通し番号となっている、1～90までであるのでわかりにくい。
5 創意工夫	・各編の初めに導入として図が多く挿入されており学習活動に利用しやすい。 ・各単元に学習課題が設定されており本時の目標が設定しやすい。 ・調べ学習のページが充実していてよい。
6 使用上の便宜	・文字の大きさやふりがなが適切であり、文章量も適当である。 ・敬体で文章表記されている。 ・光を反射しやすい紙を使っており、また資料も明瞭ではないため、すべての生徒にとって見やすいとはいえない。
7 その他	・キャラクターの吹き出しで足りない部分がみられる。例えば267ページのキャラクターの吹き出し「サケの遡上」についてサケの遡上稚魚放流事業もあったため公害対策だけとは言い難い。なお現在、太平洋側におけるサケの自然生息の南限は千葉県と言われている。
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、学習した内容からさらに深い学習に繋げられる内容となっているか(探究的)、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の

	「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、地図の見方に類似した資料提示など工夫があるが、各ページの資料提示の内容やその方法が、他社の教科書に比べるとやや劣っていると判断した。したがって、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【適している】と判断した。
--	---

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	育鵬社（227） 新しい日本の歴史
1 取扱内容	・学習指導要領をもとに内容が構成されている。 ・各章ごとにその時代の政治的なできごと・民衆の暮らし・その時代の文化を系統立てて説明している。 ・時代ごとに日本の文化の成り立ちについて説明がある。 ・人権の諸課題について記載がある。 ・挿図が多く、我が国の歴史に興味を持てるようになっている。 ・郷土の歴史に対して関心を持てるような内容となっている。
2 内容の選択及び扱い	・中学校歴史を学習するうえで程良い内容といえる。 ・小学校教科書でみられる図が使用されている。 ・単元の中で太字がみられる。 ・人権課題、部落問題に関する記述が少ない。 ・「押しつけ憲法」であるという表記、偏りを感じる内容である。 ・アイヌや沖縄の歴史について、クローズアップされている。その中で同化政策に差別があったことが明記されている。
3 内容の程度	・中学生の用いる国語力に合わせた文章表記となっており、読解しやすいものとなっている。また難読部分についてはふりがな表記がされている。 ・挿図について生徒が興味を持てる物が多く使われている。 ・難しくなく留意されているが、ページによっては行間がせまく、すべてのページがわかりやすくまとめられているとはいえない。
4 内容の構成及び配列	・図、表が整理されて示されており、授業を構成する際に生徒の視線を誘導しやすい。図についてはよく見られるものが多く使われている。 ・「時代の概説」→「民衆の生活の様子」→「文化」という構成がされており、生徒が次の授業で何を学習するのかがわかりやすい。 ・見開き2ページで1単元と設定されており授業を進めやすい。 ・単元の導入では興味をひくように資料を読み取れるようになっているが、単元のふりかえりでは語句を選んだり、問題を解いたりするなど、思考判断表現力が育つ内容ではない。
5 創意工夫	・各編の初めに導入として図が多く挿入されており学習活動に利用しやすい。 ・各単元に学習課題が設定されており本時の目標が設定しやすい。 ・ユニバーサルデザインやカラーユニバーサルデザインなど、あらゆる生徒が読み取りやすいようになっている。 ・それぞれの都道府県についての事例があり、地域につなげて考えることができる。
6 使用上の便宜	・文字の大きさが適切である。ふりがなについては一定性がみられない。 ・文章量が適当である。 ・敬体で文章表記されている。 ・ユニバーサルデザインフォント(UD フォント)が使用されている。 ・識別しやすい色や模様が使用されている。 ・図・資料は多いや小さかったり、暗かったりや見づらいところがある。
7 その他	

総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、学習した内容からさらに深い学習に繋げられる内容となっているか(探究的)、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、一方的な見方や考え方に捉えられがちな資料提供があり、平等性にやや欠ける部分が見受けられた。また、学習内容も曖昧な点もある事から、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【やや適している】と判断した。
--------	--

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会（歴史）
発行者名（番号）・教科書名	令和書籍（236） 国史教科書
1 取扱内容	・学習指導要領にそって内容が構成されている。 ・時代の政治的なできごと・民衆の暮らし・その時代の文化を説明している。 ・人権の諸課題について記載がある。 ・挿図が多く、我が国の歴史に興味を持てるようになっている。 ・詳しい内容ではあるが、内容に偏りがある上、言葉も難しいので中学生向けではない。
2 内容の選択及び扱い	・中学校歴史を学習する上で難しい印象である。 ・単元の中で重要な語句に太字がされるよう整理されている。 ・それぞれの出来事や人物について詳細に記述されているが、写真が少なく、特定の人物のみ掲載されている。
3 内容の程度	・中学生の学習する量が多く、内容としては難しい。 ・難読部分についてはふりがな表記がされている。 ・挿図について生徒が興味を持てる物が多く使われている。 ・中学生にとって難しい単語が並び、わかりにくい。 ・資料などもマニアックで中学生向けではない。
4 内容の構成及び配列	・図、表が多く示されており、授業を構成する際に生徒の視線を誘導しやすい。 ・系図について人物名が多く示されている。 ・それぞれの項目について、ページ数が多く、簡潔でない。
5 創意工夫	・各編の初めに導入として図が多く挿入されており学習活動に利用しやすい。 ・各単元に学習課題が設定されており本時の目標が設定しやすい。 ・モノクロ印刷であり、わかりにくい。
6 使用上の便宜	・文字の大きさが他社と比べ小さく中学生としては読みにくい。 ・文章量が多い。 ・敬体で文章表記されている。 ・文字数、ページ数が多く、教科書としては使用しづらい。
7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、学習した内容からさらに深い学習に繋がられる内容となっているか(探究的)、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、などを中心に考え評価した。その結果、一方的な見方や考え方に捉えられがちな資料提供があり、平等性に欠ける部分が多く見受けられた。読み物教材の様な内容や構成となっているため、教科書として活用できない。また、学習内容も曖昧な点もある事から、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【やや適している】と判断した。

社会

(公民的分野)

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（公民）
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい社会 公民
1 取扱内容	・全体的にバランスが取れていて、どの視点からも公平に内容が記載されている。また、最新の情報や時事を含むことで、生徒の興味を引き付け、現実の社会と結びついた学びをすることができる。
2 内容の選択及び扱い	・現代の諸課題を考察するための基礎的・基本的な社会的事象等がバランスよく取り上げられており、重要語句も太字を使っていて見やすい。 ・少子高齢化について、アニメと図を使いわかりやすい。年金負担の表がありわかりやすい内容となっている。P16
3 内容の程度	・学習指導要領の教科の目標を達成するために、必要な教材が適切に用意されている。 ・基礎的、基本的事項の理解や習得のため適切な配列がされている。 ・沖縄の基地の話が中心になっている。集団的自衛権については、もう少しわかりやすい説明があれば良かった。 ・アイヌの話が多く、別コーナーもあり詳しい内容になっている。P74
4 内容の構成及び配列	・学習指導を有効に進められるように配慮されている。 ・分量に関しても有効に進められるように精選されている。 ・政党について写真と公約があり、資料として使いやすい。P84 ・裁判員制度について、現在の社会にも起こりうる例を載せている。P108
5 創意工夫	・各章の導入部分に活動が入っているので、楽しく新しい単元に入っていける工夫がある。 ・みんなでチャレンジなどの活動では資料を使って学習を深める工夫がある。 ・前ページにQRコードがついており、デジタル教材を使って学習することができる工夫がある。
6 使用上の便宜	・目次が見やすく、学習内容が一目でわかる。
7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、さらに学習を深められる様に工夫されているか(探究的)、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、地域の特性に合っているかなどを中心に考え評価した。その結果、平和学習の内容が希薄に終わっていることや、人権問題(特に部落差別の問題)に対しての課題など、さらなる内容の充実が求められると感じられた。したがって、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【適している】と判断した。

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（公民）
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 中学社会 公民 ともに生きる
1 取扱内容	・幅広いトピックを包括的にカバーし、中立的で公平な視点なので授業で使いやすい。 ・最新の時事問題にも対応しており、生徒が現実の社会とつなげて学ぶことができる。 ・図や写真が多くて見やすく、内容を理解しやすい。
2 内容の選択及び扱い	・現代の諸課題を考察するための基礎的・基本的な社会的事象等がバランスよく取り上げられており、重要語句も太字を使っていて見やすい。 ・少子高齢化について、他国との比較があってわかりやすい。P16
3 内容の程度	・学習指導要領の教科の目標を達成するために、必要な教材が適切に用意されている。 ・基礎的、基本的事項の理解や習得のため適切な配列がされている。 ・集団的自衛権は、コラムになっている。 ・識字について取り上げているところが良い。
4 内容の構成及び配列	・学習指導を有効に進められるように配慮されているが、関連性がつかみづらい部分がある。 ・分量に関しても有効に進められるように精選されている。 ・政党について衆参のグラフがあるが、わかりにくい。 ・裁判員、強盗、刑法について書かれており、生徒の主張も書かれている。
5 創意工夫	・学習コラムが充実しており、公民の窓など学習から興味や関心を広げていくための工夫がある。
6 使用上の便宜	・目次が見やすく、学習内容が一目でわかる。
7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、さらに学習を深められる様に工夫されているか(探究的)、見開き 2 ページによって 1 時間の構成となっているか、1 時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、地域の特性に合っているかなどを中心に考え評価した。その結果、各ページでの資料提供は豊富である。しかし、多くの資料が有りすぎて本文との関連性がつかみにくいと感じられたこと、資料の説明に時間がかかりすぎるのではないかという懸念もあり、的を絞った資料の提示方法であれば良かった。したがって、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【適している】と判断した。

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（公民）
発行者名（番号）・教科書名	帝国書院（46） 社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
1 取扱内容	・授業で使いやすい構成になっており、説明が明確で教えやすい。 ・中学生が興味を持ちやすいトピックが多く取り上げられている。 ・図が多くて読みやすく、試験対策にも役立つ。
2 内容の選択及び扱い	・現代の諸課題を考察するための基礎的・基本的な社会的事象等がバランスよく取り上げられており、重要語句も太字を使っていて見やすい。 ・P10 少子高齢化の昔と今の写真があるが、比較して考えることが難しい。 ・P48 部落差別と LGBTQ の扱いについては、部落問題学習での水平社の記述が小さく大きく取り上げた方が教えやすい。性の多様性については写真が大きく、今日の課題に適した内容である。
3 内容の程度	・学習指導要領の教科の目標を達成するために、必要な教材が適切に用意されている。 ・基礎的、基本的事項の理解や習得のため適切な配列がされている。 ・集団的自衛権は、図解入りで分かりやすい。P41 ・政党の公約が表で書かれていることは、授業でいい資料となっている。P80
4 内容の構成及び配列	・学習指導を有効に進められるように配慮されている。 ・分量に関しても有効に進められるように精選されている。 ・裁判員制度を取り扱う事例は、興味を持たせることができる。P98（正当防衛か傷害致死か等）
5 創意工夫	・各節の導入部分に設置されている TRY は、学習にスムーズに入れるよう楽しく学習できる工夫が施されている。 ・アクティブ公民を使用して、授業内で活動ができる工夫が毎回ある。
6 使用上の便宜	・目次が見やすく、学習内容が一目でわかる。
7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、さらに学習を深められる様に工夫されているか(探究的)、見開き 2 ページによって 1 時間の構成となっているか、1 時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、地域の特性に合っているかなどを中心に考え評価した。その結果、人権問題に対しての記述や内容においては、表現や資料提示に多少の偏りを感じる部分がある。その他の学習内容においては、学習内容の順番を見る限り、教師が関連性を持たせた指導ができるような工夫もされている。従って、最も適している他社の教科書に比べると、使用教科書として【適している】と判断した。

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（公民）
発行者名（番号）・教科書名	日本文教出版（116） 中学社会 公民的分野
1 取扱内容	・授業で使いやすい中立的な教科書で幅広いトピックをカバーしている。 ・中学生が自分で考える力を養うための議論の教材が豊富に含まれている。 ・具体的な事例が多く、実生活に役立つ知識を学ぶことができる。
2 内容の選択及び扱い	・現代の諸課題を考察するための基礎的・基本的な社会的事象等がバランスよく取り上げられており、重要語句も太字を使っていて見やすい。 ・少子高齢化、年金負担の表があり、指導するにあたってわかりやすい。P8 ・集団的自衛権の説明がわかりやすく、ウクライナ情勢などを取り上げており現在の情勢に沿っている。
3 内容の程度	・学習指導要領の教科の目標を達成するために、必要な教材が適切に用意されている。 ・基礎的、基本的事項の理解や習得のため適切な配列がされている。 ・部落差別ポスター2015 は、古い資料である。 ・アンケートに関する記載が少なく、補足的な説明があれば良い。
4 内容の構成及び配列	・学習指導を有効に進められるように配慮されている。 ・分量に関しても有効に進められるように精選されている。 ・政党の表記は顔と名前のみであるが、あまりにも詳しくなると公平性に欠けることになるので、この程度で良いのではないかと。P88
5 創意工夫	・公民＋αやアクティビティなど学習をより深めるための工夫がある。 ・イラストや漫画が多く、視覚的な工夫が多い。 ・点字を実際に触れることができる。
6 使用上の便宜	・目次が見やすく、学習内容が一目でわかる。
7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、さらに学習を深められる様に工夫されているか(探究的)、見開き 2 ページによって 1 時間の構成となっているか、1 時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、地域の特性に合っているかなどを中心に考え評価した。その結果、日本の平和主義の記述や基本的人権の単元の内容が他社に比べると充実している。また人権問題に対しての記述や内容においても、今後の人権課題を挙げており、地域の取り組みに関連性を持たせられると感じた。また、その他の学習内容においても、学習する流れに一貫性があり、生徒も指導する側も一連の流れとして学習できる配置となっている。従ってこの教科書は採択される教科書として、【最も適している】と判断した。

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（公民）
発行者名（番号）・教科書名	自由社（225） 新しい公民教科書
1 取扱内容	・日本の歴史や文化を重要視した内容で、国際的な視点も交えている。 ・特定の歴史観や価値観が強く反映されているため、バランスよく授業を行うことが重要である。 ・考えさせる内容が多く、ディスカッションの教材が多い。
2 内容の選択及び扱い	・現代の諸課題を考察するための基礎的・基本的な社会的事象等がバランスよく取り上げられており、重要語句も太字を使っていて見やすい。 ・少子高齢化については、グラフのみで分かりにくい。 ・政党の変遷が書かれているが、生徒にとっては分かりにくい。
3 内容の程度	・学習指導要領の教科の目標を達成するために、必要な教材が適切に用意されている。 ・基礎的、基本的事項の理解や習得のため適切な配列がされている。 ・憲法の三大原則が1ページしかないので、内容が薄く授業がやりにくい内容である。 ・部落問題の記載が少なく、P78に載せてあるが概略の説明のみである。
4 内容の構成及び配列	・学習指導を有効に進められるように配慮されている。 ・分量に関しても有効に進められるように精選されている。
5 創意工夫	・アクティブに深めようや、ミニ知識、など授業で活動に使用できそうな課題が節ごとに設定されている。 ・図や写真などの資料が多く、飽きない工夫もされている。 ・全ページにここがポイント！があり、学習の整理がしやすい。
6 使用上の便宜	・目次が見やすく、学習内容が一目でわかる。 ・読み物としては良いが、授業をする教科書としては、扱いにくい内容である。
7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、さらに学習を深められる様に工夫されているか(探究的)、見開き2ページによって1時間の構成となっているか、1時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、地域の特性に合っているかなどを中心に考え評価した。その結果、写真や資料が多く使用され、分かりやすく工夫されているが、表やイラスト、イラストや解説文の間のスペースが広すぎるように感じられた。また、「内容解説資料」等の付属資料があれば、この教科書の特徴がより把握できたなど、使用教科書として課題があると思われる。従って、最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【やや適している】と判断した。

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（公民）
発行者名（番号）・教科書名	育鵬社（227） 新しいみんなの公民
1 取扱内容	・日本の伝統や文化を尊重し、教育において重要な視点を掲載している。 ・特定の歴史観や価値観が強調されているため、ほかの資料と併用してバランスをとっていくことが求められる。 ・日本の歴史や文化についての知識を深めることができる。
2 内容の選択及び扱い	・現代の諸課題を考察するための基礎的・基本的な社会的事象等がよく取り上げられており、重要語句も太字を使っている見やすい。 ・少子高齢化のグラフが多すぎて指導しにくい。また、絵もわかりにくい。P18 ・沖縄戦のことが中心に記載されているところは、資料として扱いやすい。 ・部落差別 2020 のポスター、インターネット差別にも記述されており、現代の問題に触れているところが良い。P61
3 内容の程度	・学習指導要領の教科の目標を達成するために、必要な教材が適切に用意されている。 ・基礎的、基本的事項の理解や習得のため適切な配列がされている。 ・集団的自衛権の記述がわかりにくい。P61 ・政党についての資料は写真入りであるが、主な政党しか載せられていないので偏りを感じる。P82
4 内容の構成及び配列	・学習指導を有効に進められるように配慮されている。 ・分量に関しても有効に進められるように精選されている。 ・裁判員の資料は、証拠品や検察官と弁護人の意見があって、わかりやすく記載されている。P104
5 創意工夫	・各章の終わりには、学習のまとめとして重要語句の確認がついているので振り返りがしやすい。 ・やってみようを使って授業で楽しく活動ができる工夫がある。 ・全ページに確認と探究のコーナーがあり、学習の整理がしやすい工夫がある。
6 使用上の便宜	・目次が見やすく、学習内容が一目でわかる。
7 その他	
総合的な評価	「取り扱い内容」「内容の選択」をはじめ、「内容の構成」などで生徒が興味関心を持ち、主体的・対話的に学習できるよう工夫された内容であるか、さらに学習を深められる様に工夫されているか(探究的)、見開き 2 ページによって 1 時間の構成となっているか、1 時間単位の「めあて」と「ふりかえり」が設定されているか、文章の分量や読みやすさ(表現)などの配慮がなされているか、地域の特性に合っているかなどを中心に考え評価した。その結果、一部の学習内容に偏りがあるように感じられ、正確にとらえられているか疑問を生じる部分が見られ、内容や表現の改善が必要であると感じられた。従って最も適しているとされる他社の教科書と比べると、【やや適している】と判断した。

地図

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（地図）
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい社会 地図
1 取扱内容	・ 基本的事項をもれなく網羅している。 ・ 教育基本法との関連が計られている。 ・ 学校教育法、学習指導要領の目標に準拠している。
2 内容の選択及び扱い	・ 日本の領土について、竹島や尖閣諸島などの写真を掲載するとともに現状や課題が記載されている。 ・ 「持続可能な開発目標」を巻頭で取り上げ、諸課題解決のためのきっかけとしている。 ・ 防災教育について、写真やハザードマップ等を掲載している。 ・ 三重県について、伊賀組紐が掲載されている。
3 内容の程度	・ グラフや写真等の資料がやや少ない。 ・ 地図上の記号などの情報がやや少ない。
4 内容の構成及び配列	・ 日本の地方別地図は 8 地方に区別し、100 万分の 1 の縮尺に統一されている。 ・ 地理的な見方・考え方を示す作業コーナーとしてキャラクターの吹き出しがつけられている。 ・ 伝統や文化等に関する写真が記載されており、生徒の関心意欲を高める工夫がされている。
5 創意工夫	・ ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ・ 色彩については、色覚特性に配慮されている。 ・ 鳥瞰図は少なく、やや見にくい。
6 使用上の便宜	・ デジタルコンテンツについて、大変豊富に用意されている。 ・ 資料、写真について年代が 2019 年、2020 年が多く、やや古い。 ・ 近畿拡大地図に伊賀地域が含まれるが、史跡等の表示は少ない。
7 その他	・ A 4 判を採用し、強度の高い紙を使用するなど造本は堅牢である。 ・ 巻末に日本や世界の統計資料、さくいん等が掲載されており、情報が確認しやすいように工夫されている。
総合的な評価	【適している】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	社会科（地図）
発行者名（番号）・教科書名	帝国書院（46） 中学校社会科地図
1 取扱内容	・ 基本的事項をもれなく網羅している。 ・ 教育基本法との関連が計られている。 ・ 学校教育法、学習指導要領の目標に準拠している。
2 内容の選択及び扱い	・ 日本の領土問題について、竹島や尖閣諸島、北方領土の現状や課題等が記載されている。 ・ 環境問題や「持続可能な開発目標」について特設ページを設けて、関心を高める工夫をしている。 ・ 尾鷲市の林業についての現状等が掲載されている。
3 内容の程度	・ 地図上の記号や記述が豊富で、情報量が大変多い。 ・ グラフや写真などの資料が大変豊富である。
4 内容の構成及び配列	・ 日本の地方別地図は 8 地方に区別し、100 万分の 1 の縮尺に統一されている。 ・ 地理的な見方・考え方を示す作業コーナー「地図で発見」が設けられている。 ・ 日本の自然災害についての特設ページを設けるとともに、各所に防災マークをつけ関連事項を掲載することで防災意識を高める工夫がされている。
5 創意工夫	・ ユニバーサルデザインフォントを使用し、地名には縁取りがあるため、地図上の文字が見やすくなっている。 ・ 色彩表現について、色覚特性のある生徒にも見やすくなっている。 ・ 鳥瞰図が多く、地形を視覚的に理解しやすい工夫がされている。
6 使用上の便宜	・ デジタルコンテンツは豊富に用意されている。 ・ 資料、写真は、2021 年から 2022 年のものが多く、比較的新しい。 ・ インデックスが大きく、確認がしやすい。 ・ 近畿地方の拡大図に、伊賀地域が入っており、史跡等も多く示されている。
7 その他	・ A4 判で、軽く耐久に優れた紙が使用されている。造本も背が強化されており、堅牢である。 ・ 巻末に日本や世界の統計資料、さくいん等が掲載されており、情報が確認しやすいように工夫されている。
総合的な評価	【最も適している】

数学

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい数学 ～MATHCONNECT 数学のつながり～
1 取扱内容	・生徒が自ら数学的な見方・考え方を働かせ、振り返りを意識するための工夫がされている。 ・基礎的・基本的な知識や技能が習得できるよう、きめ細やかな問題構成になっている。 ・数学的活動を設け、章末で「活用の問題」を取り上げ、思考力・判断力・表現力を伸ばすことができるようになっている。
2 内容の選択及び扱い	・「学びをふり返ろう」では、生徒が学習を終えた後、働かせた見方・考え方を考えるきっかけとなるように工夫されている。 ・節末の「基本問題」では、生徒自身が自らの課題を認識し、つまづきを解消できるようになっている。 ・数学の事象から問題を見だし解決する活動では、見方・考え方が働く深い学びが実現できるようになっている。
3 内容の程度	・易しい問題から難しい問題へと飛躍がないように展開し、無理なく着実に基礎・基本が身につくようになっている。 ・生徒が進んで取り組むためのものとして、補充的、発展的な学習を取り上げ、学力向上が図れるようになっている。
4 内容の構成及び配列	・学習内容の系統性を重視し、スパイラルな学習や円滑な指導が行えるよう、内容を配列している。 ・単元の学びが連続し、生徒が主体的に取り組めるようになっている。
5 創意工夫	・練習問題は、過度な負担がかからないよう適切な分量にとどめ、個人差に対応してQRコンテンツなどで問題量を補充できるようになっている。 ・生徒の生活経験に即した身近な素材を豊富に取り上げ、興味・関心を高めるようになっている。
6 使用上の便宜	・用語・記号は、小学校との重複を避け、必要なものを適切に用いている。 ・数学的な表現の正確さを保ちながら、生徒の発達段階を考慮し、理解しやすく記述してある。
7 その他	・作図や関数のグラフは、教科書紙面に書き込めるようになっており、指導の効率化を図っている。
総合的な評価	紙面にゆとりを持たせるとともに、文字の大きさ、行間など読みやすいように配慮されており、【やや適している。】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	大日本図書（４） 数学の世界
1 取扱内容	・各章のはじめに、章の導入の活動を設け、学習への意欲や関心を高め、生徒が主体的に取り組めるようになっている。 ・本文に小学校や前の学年までに学んだ内容を記載したり、巻末に前の学年までの復習を設けたりして、ふり返りながら学習できるようになっている。 ・巻頭のメッセージでは、考えることの楽しさや数学を学ぶよさなど、生徒が数学を学ぶことの楽しさや数学のよさを感じるきっかけとなっている。
2 内容の選択及び扱い	・「学びにプラス」では、学習をもとに別の考え方や逆の見方をする課題を通して統合的に考察する力などを養えるようにしている。 ・章や項の導入、利用の場面では、学習する課題の題材を身近なものから選択しながら学習に取り組めるようにしている。 ・家庭と学校との連携を重視し、「保護者のみなさまへ」を掲載している。
3 内容の程度	・内容の系統性を重視し、文字の大きさは生徒の発達段階に配慮している。 ・「全国学力・学習状況調査」を分析し、課題があるとされている内容をていねいに取り扱い、学力向上に向けて内容が充実している。 ・学んだことをより深めたり調べたりするための問題として、本文に「学びにプラス」が設けてある。
4 内容の構成及び配列	・各学年の内容は各領域ともに学年間の系統性を重視し、各学年においても特に領域間の構成を配慮している。 ・各章は導入の活動から始まり、それに続く本文は、授業や生徒の思考の流れに沿った構成となっている。 ・数学への興味・関心を高めるために、章の導入の活動や導入課題「考えよう」、そして利用の問題では生徒にとって身近な場面を多く取り上げている。
5 創意工夫	・各領域の適正な配分をするとともに、基礎的・基本的な学力の確かな定着を図るために、必要な箇所にバランスよく時間配当されている。 ・各項の時数は、指導のねらいを明確にして、生徒が十分な理解を得られるように設定している。
6 使用上の便宜	・用語・記号は初出時に太字で示し、ふりがなをふって読みやすくなっている。 ・学習の流れが捉えやすくなるように紙面構成を工夫し、効果的な写真やイラストを配置している。
7 その他	・本文には、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用している。
総合的な評価	印刷は読みやすく鮮明に仕上げてあるとともに、色覚特性に配慮した 4 色刷りを有効に使用するなどの配慮がされており、【やや適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	学校図書（11） 中学校 数学
1 取扱内容	・身近な場面から自ら疑問を発見することで主体的に学び、生徒同士の話し合い活動を通して問題解決への意欲を持つことが出来るようになっている。 ・補充的、発展的な内容を本文の学習と関連づけてあり、生徒の理解度や興味・関心に応じて取り組めるように配慮してある。
2 内容の選択及び扱い	・必ず学習する内容と興味・関心や習熟度に応じて学習する内容をバランスよく配分している。 ・習熟の状況などに応じて練習問題が用意されており、教科書全体で自学自習ができる構成になっている。
3 内容の程度	・基礎的・基本的な内容に十分な指導時間がかけられるようになっている。また、各節末の「確かめよう」では、基礎・基本の確認のための時間が確保してある。 ・章末には、「深めよう」を設定し、教師や生徒自身が必要な課題を選択して取り組むことができるようになっている。 ・計算力を高めるために類型別に問題が設定されている。また、理解状況に応じて、既習事項を確かめられ、詳しい解答を知りたいときには、補助的なQRコンテンツから学習することが出来るようになっている。
4 内容の構成及び配列	・各学年とも、数と式、関数、図形、データの活用の順に章が配列されている。 ・各領域の前では、「ふりかえり」で小学校の学習内容や前学年までの学習内容の学び直しができ、効果的に学習が進められるようになっている。また、学習してきた内容から一歩ふみこみ、高校数学の内容にスムーズに触れられるようにしている。
5 創意工夫	・日常生活や社会に関する問題や、環境に関する問題を取り上げるとともに、学習内容に関連するコラムなどの特設ページがある。 ・自分の将来について希望を持つとともに、将来の自分の姿について考える機会が持てるよう配慮してある。 ・他教科の学びに触れることで、数学の内容が他教科の内容に生かされていることに気づき、数学の有用性を認識することができる。
6 使用上の便宜	・生徒一人ひとりの特性や学習進度・学習到達度等に応じて、生徒自らが主体的に学習に取り組めるようになっている。 ・用語や記号は、正確に理解できるように記号の読み方を示してある。 ・視覚的にも理解しやすく、教科書での作業がしやすいようなレイアウトになっている。
7 その他	・ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点で本文の表現がされており、インクルーシブ教育に配慮されている。 ・「Tea Break」やページ数が素因数分解で表現するなど興味を持たせる工夫がある。
総合的な評価	・生徒の思考の流れを大切にし、観察や実験などの操作活動を多く取り入れるなど配慮されており、【やや適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 中学数学
1 取扱内容	・章の冒頭に既習内容の確認ができるようになっているため、生徒の学力差に対応したり、学び直しの機会を設けたり工夫されている。 ・数学しごと人を紹介し、数学が実社会に役立っていることや数学を学ぶ意義を実感できるようになっている。 ・生徒の課題把握を支援するデジタルコンテンツや学力にあわせて基本から入試過去問題まで問題が豊富である。
2 内容の選択及び扱い	・学調でつまずきが見られる内容は【みんなに説明しよう】で意図的に誤答例を示し、深く考えさせるものになっている。 ・基礎的基本的な内容を確実に定着させるため、生徒の学力差に対応したり、学び直しの機会を充実したりできるように工夫されている。 ・学習のまとめでは協動的な振りかえりを求め、思考力・判断力・表現力の育成を図れるようになっている。
3 内容の程度	・章のはじめには、日常の中に隠れている数学についてふれ、考えてみたくなるしくみになっている。 ・例や問題の提示がスモールステップになっており、苦手な生徒にとっても、わかりやすく、吹き出しでの解決の手助けもされている。
4 内容の構成及び配列	・数と式→関数→図形→データの活用の順序で一般的である。1年生では素数・素因数分解・累乗を学習し、小学校算数との連携に配慮してある。 ・新しい小節の学習に入る際に、学習の目標を示し、見通しを持って学習に取り組めるようになっている。
5 創意工夫	・表紙のQRコードから動画をみることができ、生徒自身が表紙の写真が表現しているものを見方・考え方を働かせて数学的に抽象化できるしくみになっていて、見方・考え方を深められる構成になっている。 ・数学的な見方、考え方の良さを実感するとともに、自己の学習を振り返って、評価改善しようとする態度が養えるように工夫してある。
6 使用上の便宜	・ユニバーサルデザインになっていて、文節のまとまりで改行UDフォントを多く使用、認識しやすい配色、形を変えるなど視覚の個人差で支障がでないように配慮されている。 ・教科書に登場する人物も多様性、異文化への理解を促したものになっている。
7 その他	・さし絵や写真を豊富に配置し、ポイントが分かりやすいように配慮してある。
総合的な評価	・学び直しから学び方、見方・考え方まで丁寧に学習できる工夫がされており、主体的な探究活動ができるようにも工夫がされており、【やや適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	啓林館（61） 未来へひろがる数学
1 取扱内容	・学習することの意義を実感し、意欲をもって主体的に学習に取り組めるようになっている。 ・協働的に問題を解決する場面などを設定しており、対話的な学びができるようになっている。 ・問題発見、問題解決の2つに分け区別して示されており、見方・考え方を育成できる構成になっている。
2 内容の選択及び扱い	・キャラクターを登場させて、考え方を示唆したり、説明をしたりすることで、親しみやすく、楽しく学習しながら理解が深まるように工夫している。 ・協働的に問題を解決する場面で、「説明しよう」「話しあおう」が設定しており、思考力・判断力・表現力が養われるよう配慮している。 ・身のまわりや数学の場面における問題を、自らが学んだことを活用して解決する学習習慣が身につくよう配慮してある。
3 内容の程度	・既習事項をふり返ると効果的な場面には、「ふりかえり」をおき、学んだ学年や小学校の内容には「算数」を示して、その関連がわかるようになっている。 ・基礎・基本の定着を重視しながらも学びを身につける思考・判断・表現をのばす多種多様な問題を扱っている。 ・「学びをいかそう」では、総合的な学習の時間に取り組んで身につけた数学を活用できる題材を豊富に用意してある。
4 内容の構成及び配列	・例や例題にはタイトルがあり、学習内容がわかるようになっている。 ・証明では、予想から成り立つ証明までの流れを丁寧に示してある。 ・関数での表・式・グラフの関係を重視し、目的に応じて表現を選択する力が養われるようになっている。 ・まとまりのある内容ごとに章が構成しており、学習が自然に進められるよう、配列に配慮している。
5 創意工夫	・「索引」では用語や記号がまとめて掲載されており、自学に役立つ。 ・「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」では思考・判断・表現を育てる課題設定になっている。 ・章末問題「学びを身につけよう」には解説動画が用意されており、自学で取り組めるので、指導時間の調整も可能となっている。
6 使用上の便宜	・QRコンテンツに「補充問題」を準備してある。 ・イラストには多国籍の生徒、車イス、めがねを使用している生徒など様々な特性をもつ生徒が登場しており、多様性が日常であることが表現されている。
7 その他	・ユニバーサルデザインフォントを使用し、誰もが読みやすいようにしてある。 ・数学ライブラリーには、生徒が疑問にもちそうなことを丁寧に解説しており、読むことで理解を深められる内容になっている。
総合的な評価	・数学的な概念や原理・法則を具体的な例を通して考えたり、関連づけたりして、理解しやすくなるように工夫されており、【適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	数研出版（104） これからの 数学
1 取扱内容	・「確かな知識・技能の習得」、「考え方、学びの向上」、「数学を学ぶことが楽しくなる」という基本方針をもとに、教科書全体が問題解決型の学習を前提として構成されていて思考力、判断力、表現力を適切に養うことができる。 ・学習評価の3つの観点バランスよく配置されており、評価しやすいつくりになっている。
2 内容の選択及び扱い	・基礎基本がしっかり定着するように、振り返り・学び直しの機会が適切に設けられている。 ・全国学力・学習状況調査等で、課題がある内容を、丁寧に扱っている。 ・基礎的・基本的な内容について数学的活動を通して身につけられるようになっている。 ・新しい章に入る際は、生徒自身が自ら問いを持つことで、主体的な学びにつながるようになっている。
3 内容の程度	・基礎基本について十分な量（「問」「練習問題」「確認問題」「章の問題」「チャレンジ編」）が確保されているとともに、興味や進度に応じて取り組むことができるように充実した内容を扱っている。 ・既習の考え方と共通するところや異なるところを取り上げており、既習の内容とのつながりがわかるようになっている。
4 内容の構成及び配列	・項目を細かく立てることで内容の区切りがわかりやすくなっており、授業での使用が考慮されている。 ・章の学習前に関連する既習事項を取り扱い振り返ることができるように、系統性を意識しながら意欲をもって学ぶことができるようになっている。 ・標準的な指導時間数に対して余裕をもった分量になっている。
5 創意工夫	・生徒キャラクターが対話を通して学習内容の理解を深めていく姿があり、授業における問題解決の過程の部分に焦点があたるよう工夫がされている。 ・課題があると報告されている「説明すること」について、その機会をたくさん設けてあり、論理的に考える場面、統合的・発展的に考える場면을充実させている。
6 使用上の便宜	・性的マイノリティ、外国ルーツの生徒等への配慮がされており、多様な生徒が学ぶことを考慮されている。 ・教科書の各ページの下に記載されたQRコードで教科書の間の補充、動画やアニメーションによって教科書の内容を分かりやすく見るなどのコンテンツを利用することが出来る。
7 その他	・多様な生徒が学ぶことを考慮し、カラーユニバーサルデザインをはじめとするユニバーサルデザインに配慮している。 ・数学旅行では、数学と社会との関わりを考えることが出来る話題も掲載されている。
総合的な評価	生徒にとって学びやすい構成になっており、個別最適な学びと協働的な学びが充実しており、主体的に学ぶことができるもので、【最も適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	数学
発行者名（番号）・教科書名	日本文教出版（116） 中学数学
1 取扱内容	・基礎的・基本的な知識及び技能を習得する過程で、思考力、判断力、表現力等を段階的に高めていけるよう配慮されている。 ・基礎的・基本的な内容を確実に定着できるように十分な量が設けられており、基礎的・基本的なものに重点を置いたうえで、易しい課題から難しい課題へ段階を踏んだ内容になっている。
2 内容の選択及び扱い	・新たな内容を学習する際にはすでに学習した関連する内容を意図的に再度取りあげて、既習の知識及び技能を新しい問題の解決に生かせるようになっている。 ・巻頭の見返しや章の扉では生徒に疑問を抱かせ、どうすれば疑問を解消できるのかと興味を引くような事柄が写真やイラストなどを使って提示され、その疑問を数学の問題として解決していく過程が丁寧に扱われている。
3 内容の程度	・基礎的・基本的な内容や考え方を理解することに重点を置いた展開にするとともに、知識や技能の確実な定着が図れるようになっている。 ・個に応じて、基礎的・基本的な内容を確実なものにしたり、応用的・発展的な問題に取り組んだりしていけるように配慮されている。
4 内容の構成及び配列	・学習内容をまとまりのある単元に構成し、本時のめあてや例、問の意図を明確にすることで学びやすく、基礎・基本が身につくように構成されており、1時間の授業の流れがわかりやすくなっている ・次の章を学ぶために必要な知識及び技能を復習できるようになっており、つまづきを未然に防ぎ、これまでに学んだことを次の学習に生かせる構成になっている。
5 創意工夫	・QRコードが内容を推測しやすいように分類が付記されており、また学習内容のすぐそばにあるため、使いやすく、ICTを使った学びのサポートがなされている。 ・生徒が主体的に学ぶことができるように工夫されており、数学的活動の楽しさや数学の良さを実感することで、数学の学習への関心・意欲が高まり、積極的に取り組もうとする態度を養うように工夫されている。
6 使用上の便宜	・読みやすいUDフォントが全面的に使用されており、読みやすさを重視して、文章は文節で改行されている。 ・現代的な諸課題（多様性・人権上の配慮、伝統と文化、防災・安全、他教科との関連）に対応している。
7 その他	・環境、安全、健康に配慮した紙やインキが使われている。
総合的な評価	・基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身につけられるよう工夫されており、【やや適している。】

理科

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	理科
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい科学
1 取扱内容	・学習指導要領に定める教科の目標を達成するうえで適切である。 ・生徒の探究心を育て、主体的の学びに向かう力や科学的に探究するために必要な資質・能力が育つように配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	・説明や例題等を利用し、知識及び技能を育成し、シミュレーションや手順が記載され、思考力、判断力、表現力を身につけ、生徒の興味関心を引き出せるような内容を扱い、学びに向かう力を育成できるような内容である。 ・探究の流れが示されており、探究する力を活用できるように身近な疑問から深い学びに結び付けることができる内容となっている。
3 内容の程度	・基礎から発展の内容まで網羅されている。 ・生徒が興味を持って学習に取り組める内容となっている。 ・各学年の内容は発達段階に適している。
4 内容の構成及び配列	・節の構成は、課題の把握、課題の探究、課題の解決となっており、生徒の思考の助けとなりわかりやすい内容となっている。 ・生徒の主体的な学びにつながるように、写真等が配列され、興味関心を高められるようになっている。
5 創意工夫	・学習した内容を身近な生活にいかすことができるような工夫がされており、学習した内容が定着でき、探究する力を育てられるようになっている。 ・探究の流れが見えるように、学びのフローチャートが示され、見通しをもって学習することができるようになっている。 ・デジタルコンテンツが充実しており、生徒の探究心を育てられるようになっているが、文字が少し小さく感じられ、紙面の外側に配置され見づらく感じる。
6 使用上の便宜	・単元のまとめや演習問題は充実しており、実験・実習において、生徒が主体的に操作できるようなコンテンツや生徒の思考をサポートできる内容等が記載されている。 ・実験等の注意点をわかりやすく、文字やアイコンで表示し、安心した実験が行えるように配慮されている。
7 その他	・指導に役立つデジタルデータが充実しており、授業準備等にも役立つ内容が豊富である。
総合的な評価	・理科の教科書として【適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	理科
発行者名（番号）・教科書名	大日本図書（4） 理科の世界
1 取扱内容	・学習指導要領に定める教科の目標を達成するうえで適切である。 ・生徒の学びやすさを考え、探究の過程全体を通して、科学的に探究するために必要な資質・能力が育つように配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	・学んだことを日常生活や文化・歴史、科学技術、環境保全につなげて考え、幅広い視点がもてるような内容である。 ・探究の過程に沿った学習を意識的に進められるようにマーク等を設け、具体例が示されている。
3 内容の程度	・基礎から発展の内容まで網羅されているが発展的な問いが少なく、学習の深まりを高められるものにはなっていない。 ・生徒が興味を持って学習に取り組める内容となっている。 ・例題や章末問題で生徒の理解に合わせた学習を進めることができ、内容は発達段階に適している。
4 内容の構成及び配列	・探究の過程が示されており、重視したい項目も明確に示されている。 ・課題の把握、課題の探究、課題の解決といった流れで構成され、単元のまとめや演習問題、読解力問題が表記され、わかりやすい配列となっているが文字の間隔が狭く、見づらい部分がある。
5 創意工夫	・Web コンテンツが用意され、学習した内容がより定着し、より深い学びにつながるように工夫がされている。 ・Web テストにおいても、CBT を活用したものであり、生徒の定着度に合わせたものとなっている。 ・単元の導入部分に「今までに学習してきたこと」や「これから学習すること」を示し、生徒が見通しをもって学習が進められるようになっている。
6 使用上の便宜	・単元のまとめや演習問題は充実しており、実験・実習において、生徒が主体的に操作できるようなコンテンツや生徒の思考をサポートできる内容等が記載されている。 ・観察実験は課題に沿った内容のものであり、時間内に結果を出せるものを示している。また、アイコン等を表示し、安心して実験が行えるように配慮されている。
7 その他	・指導に役立つデジタルデータが充実しており、教材研究等にも役立つ内容が豊富である。
総合的な評価	・理科の教科書として【やや適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	理科
発行者名（番号）・教科書名	学校図書（11） 中学校 科学
1 取扱内容	・学習指導要領に定める教科の目標を達成するうえで適切である。 ・生徒の探究心を育て、主体的の学びに向かう力や科学的に探究するために必要な資質・能力が育つように配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	・本文が重要概念のみの内容で整理され、単元末の学習のまとめに重要概念と基本的な学習内容がまとめられており、生徒が主体的に学習に取り組めるような内容である。 ・探究の流れが示されており、探究する力を育成できるようにポイントを明示してある。
3 内容の程度	・基礎から発展の内容まで網羅されている。 ・生徒が興味を持って学習に取り組める内容となっている。 ・1年生で気づき、2年生では検証計画、3年生で振り返りを重点におくなど内容は発達段階に適している。
4 内容の構成及び配列	・結果考察に話し合いのポイントが示されており協働的な学習によって、思考が深められるようになっている。 ・説明が少なく、考察についても書かれてしまっている部分があり、思考力を育成する内容にはなっていない。
5 創意工夫	・Web ページとして再構成されたミライ教科書を使用でき、他学年の学習内容を確認したり、生徒がチャットポットに質問したりできるような工夫がされている。 ・フォントやルビ、多言語翻訳等、多様な生徒が特性に応じた学習ができるように配慮されている。 ・デジタルコンテンツが充実しており、生徒の探究心を育てられるようになっている。生徒一人ひとりの学力向上につながるようになっている。
6 使用上の便宜	・単元のまとめや演習問題は充実しており、実験・実習において、生徒が主体的に操作できるようなコンテンツや生徒の思考をサポートできる内容等が記載されている。 ・アイコン等を表示し、安心して実験が行えるように配慮されている。
7 その他	・指導に役立つデジタルデータが充実しており、教材研究等にも役立つ内容が豊富である。
総合的な評価	・理科の教科書として【やや適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	理科
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 自然の探究 中学理科
1 取扱内容	・学習指導要領に定める教科の目標を達成するうえで適切である。 ・生徒の学びやすさを考え、探究の進め方が配置され、疑問から探究していけるようになっており、資質・能力が育つように配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	・要点チェック、要点と重要用語の整理、基本問題、活用問題、学年末総合問題といった5段階で学力が定着できるような内容である。 ・探究の流れが示されており、探究学習が無理なく進められる内容である。
3 内容の程度	・基礎から発展の内容まで網羅されているが、発展的内容が少ない。 ・生徒が興味を持って学習に取り組める内容となっている。 ・例題や章末問題で生徒の理解に合わせた学習を進めることができ、内容は発達段階に適している。
4 内容の構成及び配列	・疑問から探究してみようという流れで構成され、探究学習を進めやすい内容となっている。 ・写真が見づらく、イラスト等を活用したほうがわかりやすいところがある。
5 創意工夫	・Web 図書が用意され、学習した内容がより定着し、より深い学びにつながるように工夫がされている。 ・単元の導入部分に「今までに学習してきたこと」や「これから学習すること」を示し、生徒が見通しをもって学習が進められるようになっている。
6 使用上の便宜	・単元のまとめや演習問題は充実しており、授業をサポートするデジタルコンテンツが示されている。 ・観察実験は課題に沿った内容のものであり、時間内に結果を出せるものを示している。また、アイコン等を表示し、安心して実験が行えるように配慮されている。
7 その他	・指導に役立つデジタルデータが充実しており、教材研究等にも役立つ内容が豊富である。
総合的な評価	・理科の教科書として【やや適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	理科
発行者名（番号）・教科書名	啓林館（61） 未来へひろがるサイエンス
1 取扱内容	・学習指導要領に定める教科の目標を達成するうえで適切である。 ・生徒が探究の過程を通じた学習活動を繰り返し行うことによって、学びに向かう力や知識及び技能、思考力・判断力・表現力といった科学的に探究するために必要な資質・能力が育つように配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	・資質・能力の三つの柱である「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養がバランスよく育成できるような内容である。 ・探究の流れが示されており、探究する力を活用できるように身近な疑問から深い学びに結び付けることができる内容となっている。
3 内容の程度	・基礎から発展の内容まで網羅されている。 ・生徒が興味を持って学習に取り組める内容となっている。 ・各学年の内容は発達段階に適している。
4 内容の構成及び配列	・内容の構成は、実験や観察に適した季節が考慮されたものであり、学習意欲の向上につながる。 ・配列は、すべての学年において、分野別になっており、他教科との関連や小中高といった系統を大切にしているものであり、理解しやすい。 ・生徒の主体的な学びにつながるように、写真の大きさも適当であり、文章での説明もしっかりできており、興味関心を高められるようになっている。
5 創意工夫	・学習した内容を身近な生活にいかすことができるような工夫がされており、学習した内容が定着でき、探究する力を育てられるようになっている。 ・生徒の興味関心を引き出す章導入の写真や単元を貫く問いから学びの見通しをもって学習することができるようになっている。 ・デジタルコンテンツが充実しており、身近なことにつながる手立てや学びの振り返り、自己調整、粘り強い取組につながるようになっている。
6 使用上の便宜	・単元のまとめや演習問題が充実しており、実験・実習において、生徒が主体的に操作できるようなコンテンツや生徒の思考をサポートできる内容等が記載されている。 ・実験等の注意点をわかりやすく、文字やアイコンで表示し、安心した実験が行えるように配慮されている。
7 その他	・指導に役立つデジタルデータが充実しており、授業準備等にも役立つ内容が豊富である。
総合的な評価	・理科の教科書として【最も適している。】

音楽

(一般)

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	音楽（一般）
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 中学音楽 音楽のおくりもの
1 取扱内容	教育基本法に定める教育の目標・目的等、学校教育法に定める義務教育の目標及び学習指導要領の目標を達成する上において必要な内容が扱われており、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するという点において適切かつ効果的である。
2 内容の選択及び扱い	・教科書の全体構成は、表現と鑑賞が位置されており、それぞれの教材に知識及び技術を習得するために具体的なポイントが示されている。 ・多面的に詳しく解説されており3年間を通して学習が発展するように配慮されている。
3 内容の程度	・歌唱教材は、学年の発達段階に応じて適切な音域に配慮し、表現できるよう工夫されている。 ・創作の難易度が、中学校の実態より少し難しい。 ・鑑賞教材については、資料も充実しており、生徒に伝えたい内容が掲載されているが、「比べてみよう」で取り上げている曲も含め、取り上げている曲の分量が多い。
4 内容の構成及び配列	・「作者の思いにふれる」は、生徒が作品を理解し、作品を通して自分と向き合い、より深く学ぶきっかけとなる魅力的な内容である。 ・P8、9に掲載されている「学習MAP」では、3年間の学習内容や、身につけたい資質、能力を明記し、学習内容の見通しを持てるよう工夫されている。 ・sing!sing!では、発音についての記載があり、合唱指導の際、有効に活用できる内容である。
5 創意工夫	・QRコードが、多くの歌唱教材についていない。伴奏用カラピアノや、楽曲の資料など、生徒が主体的に学ぶことができるよう資料を掲載してほしい。 ・「まなびリンク」では、模範演奏だけでなく、その曲の情景も同時に味わうことができるよう工夫されている。
6 使用上の便宜	・音楽の基礎的な知識及び技能が自主的に習得できるように、音楽記号や用語を、巻末に折り込みでわかりやすくまとめている。また、学年に応じて、オーケストラの楽器や、音楽年表・肖像画を巻末に掲載していて内容が良い。しかし、折り込みの資料となっているために繰り返し使う場合、見開きの方が使いやすい。 ・ACTIVE!では、教科書がワークシートとして活用できるよう工夫がされている。 ・合唱曲は楽譜のみの掲載が多いが、歌詞をまとめて掲載してほしい。
7 その他	
総合的な評価	○【適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	音楽（一般）
発行者名（番号）・教科書名	教育芸術社（27） 中学生の音楽
1 取扱内容	教育基本法に定める教育の目標・目的等、学校教育法に定める義務教育の目標及び学習指導要領の目標を達成する上において必要な内容が扱われており、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するという点において適切かつ効果的である。
2 内容の選択及び扱い	- 教科書の全体構成は、表現と鑑賞が位置されており、それぞれの教材に知識及び技術を習得するために具体的なポイントが示されている。 - 多面的に詳しく解説されており3年間を通して学習が発展するように配慮されている。
3 内容の程度	- 教材の難易度は中学生に合っている。歌唱教材は、学年の発達段階に応じて適切な音域に配慮し、無理なく豊かに表現できるよう工夫されている。 - 創作では、生徒が楽しく活動し学べるリズムゲームから始まり、3年間の系統だった内容を無理なく配置している。 - 鑑賞教材は、中学生に適しているが、内容がやや専門的で高度である。
4 内容の構成及び配列	- P8、9に学習内容や、身につけたい資質、能力を明記し、3年間の学習内容の見通しを持てるよう工夫されている。 - 歌唱・鑑賞・創作のどの分野においても「学びのコンパス」があり、主体的・対話的で深い学びの実現ができるよう、ペアやグループでの話し合いを意識した学習内容が取り入れられている。 - 表現活動にとどまらず、「生活や社会の中の音や音楽」にふれ、SDGsや「著作権」のなど、教科横断的に広い視野を持って深く音楽文化について学ぶことができるよう構成されている。 - 巻頭の著名人の言葉は、中学校音楽の導入として、生徒の興味をひき、音楽に関心を持つきっかけとなるものである。
5 創意工夫	- QRコードにより、合唱用パート別音源や、伴奏用カラピアノ、ワークシート、創作活動をサポートするツール、楽曲の資料など、生徒が主体的に学べる工夫がされている。 - 国歌・国旗と国際的儀礼と併せて掲載しており、生徒にとって身近なもの、興味の持てるものとして適切に取り扱うことができるよう工夫している。 - My Voiceでは、発声のポイントとなる事項を取り上げているが、特に1年生の冒頭で変声期に触れることは多感な中学生が、互いを理解しながら歌唱に取り組むことができるよう配慮されている。 - 鑑賞では、ミュージカルのページなど、生徒が興味を持てる工夫がされている。
6 使用上の便宜	- 音楽記号や用語をまとめた巻末のページは、音楽の基礎的な知識及び技能が習得できるように、また自主的に学習することができるようになっている。 - 楽譜や活字が見やすく、情景をイメージしやすいように写真を多く取り入れるなど、工夫されている。イラストを使った説明も多く、生徒の興味関心につながると考える。
7 その他	
総合的な評価	◎【最も適している】

音楽

(器楽合奏)

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	音楽（器楽）
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 中学器楽 音楽のおくりもの
1 取扱内容	教育基本法に定める教育の目標・目的等、学校教育法に定める義務教育の目標及び学習指導要領の目標を達成する上において必要な内容が扱われており、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するという点において適切かつ効果的である。
2 内容の選択及び扱い	各楽器がバランスよく構成され、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を重視している。アルトリコーダーだけでなく、ソプラノリコーダーの楽譜も示されている。各校の実態に応じて柔軟に対応できるようになっている。
3 内容の程度	・中学校音楽で取り扱いたい楽器が幅広く取り入れられている。 ・中学生が無理なく演奏できる曲や、楽器に興味を持てる内容である。また、発達段階等を考慮し、様々な楽器を使ったアンサンブルなど、多様な演奏形態で楽しむことができるよう工夫されている。ただし、「深めてみよう」では、学んだことをさらに発展的に、深い学習とするために工夫がされているが、内容は高度である。
4 内容の構成及び配列	・「話し合おう」など、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、考えられている。 ・演奏者からのメッセージを通して、生徒がより主体的に学ぶ意欲につながる内容となっている。 ・各楽器の名称や基本的な奏法など、写真や挿絵などを使い、わかりやすい。
5 創意工夫	・生徒の興味・関心が高いポピュラーソングや、日頃耳にする機会が多いクラシックの名曲を取り上げ、器楽が苦手な生徒でも意欲を持って取り組めるように、内容が精選されている。 ・QRコードでは、模範演奏を聴くことができたり、奏法を動画で見ることができたり、生徒が自主的に取り組みやすいよう工夫されている。 ・和楽器の楽譜を、なじみのある五線譜でも大きく取り上げられていて見やすい。 ・「表現の仕方を工夫してみよう」では、楽器を比較することで、楽器の音の出る仕組みや旋律の特徴に着目し、学びを深められるよう設定されている。
6 使用上の便宜	・音楽の基礎的な知識及び技能が自主的に習得できるように、リコーダーの運指表や、ギターの運指・コード表は写真を用いる等、工夫されていてわかりやすい資料となっている。巻末に折り込みでまとめられている。折り込みの資料となっているが、繰り返し使う場合、見開きの方が使いやすい。 ・たくさんの色を使用しているため、落ち着かない。
7 その他	・巻頭の「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」で、ストリート・ピアノの紹介ページは、生徒にとって身近で魅力的である。
総合的な評価	○【適している】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	音楽（器楽）
発行者名（番号）・教科書名	教育芸術社（27） 中学生の器楽
1 取扱内容	教育基本法に定める教育の目標・目的等、学校教育法に定める義務教育の目標及び学習指導要領の目標を達成する上において必要な内容が扱われており、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するという点において適切かつ効果的である。
2 内容の選択及び扱い	各楽器がバランスよく構成され、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を重視している。アルトリコーダーだけでなく、ソプラノリコーダーの楽譜も示されている。各校の実態に応じて柔軟に対応できるようになっている。
3 内容の程度	・中学校音楽で取り扱いたい楽器が幅広く取り入れられており、中学生が無理なく演奏できる曲や、楽器に興味を持てる内容である。 ・発展的な学習として、様々な楽器やアンサンブルなど、多様な演奏形態で楽しむことができ親しみを持って取り組みやすい内容になっている。 ・基礎的なものから、やや高度なものまでバランス良く取り上げ、各学校の実態に応じて選択できるように配慮されている。
4 内容の構成及び配列	・P8、9に学習内容や、身につけたい資質、能力を明記し、3年間の器楽の学習内容の見通しを持てるよう工夫されている。 ・「学びのコンパス」では、主体的・対話的で深い学びの実現ができるよう、グループでの話し合いを意識した学習内容が取り入れられている。
5 創意工夫	・生徒に聞きなじみのある、いろいろなジャンルの音楽を取り上げ、生徒の興味・関心を持てるよう工夫されている。 ・ボディパーカッションやリズム打ちのアンサンブルは、楽器を使わなくても音の重なりが体感でき、生徒が楽しく表現できる教材である。また、活動が多様に展開できる教材でもある。 ・My Melody では、中学校音楽の創作で学んだことをもとに、発展的に日本音楽の創作を取り上げ、深い学びとしている。
6 使用上の便宜	・音楽の基礎的な知識及び技能が習得できるように、リコーダーの運指表や、イラストを用いたギターの運指・コード表、音楽記号や楽器の図鑑を、巻末にまとめ、見開きの資料として掲載している。生徒の主体的で、自主的な学習に活用しやすい。 ・QRコードにより、伴奏が掲載されていて、個人やグループでの学習が主体的に学べるように工夫がされている。
7 その他	
総合的な評価	◎【最も適している】

美術

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	美術
発行者名（番号）・教科書名	開隆堂出版（9） 美術
1 取扱内容	学習指導要領に定める美術の目標を達成する上において、内容が精選され、「表現」「鑑賞」の各分野及び「共通事項」において、生徒の発達段階に配慮した内容になっており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・各分野とも多様な作品が掲載され、日常生活や身の回りの題材や、現在活躍がメディア等で紹介されている作家を取り上げるなど、生徒の興味・関心や創作意欲を喚起するような内容になっている。 ・1年生のデザインや工芸等の題材のはじめに「つくることでつながる」の特設ページを設け、生活の中の美術との関わりの例を具体的に示している。 ・3年間の学習のまとめとして「美術と社会と私」の特設ページを設け、社会における美術の役割や社会への広がりについて示している。
3 内容の程度	・生徒の発達段階と特性に応じた題材や表現の基礎となる技能を習得できるようになっており、適切である。
4 内容の構成及び配列	・題材を通して身につけたい力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」の観点別に目標として示し、さらに学習のポイントを付け加えている。 ・題材を分野別に分けて配列している。 ・巻末に「学びの資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取り扱い及び表現の方法等に関する資料を幅広く掲載している。 ・鑑賞→発想・構想→知識・技能と学習展開をしやすく工夫されている。
5 創意工夫	・作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品全体を拡大したり、一部を原寸大の図版で示したりして、作品の大きさを伝えるための工夫をしている。 ・表紙のテクスチャーなど作品の持ち味を表現しようと工夫されている。
6 使用上の便宜	・1年生1冊、2・3年生1冊にまとめられており、管理しやすく関連項目が探しやすい。また、柔軟に題材配置が組めるように配慮されており、各学校での年間指導計画に対応することができる。 ・本のサイズが大きく作られ、図版や資料も大きく掲載されており、また見やすく配置されている。
7 その他	・QRコードの見つけやすさと量は適切であり、QRコードにより導入から技法の紹介等、詳しくなっており、ワークシート等も充実している。ただし生徒作品等の数は少ない。
総合的な評価	美術の教科書として、【適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	美術
発行者名（番号）・教科書名	光村図書出版（38） 美術
1 取扱内容	学習指導要領に定める美術の目標を達成する上において、内容が精選され、「表現」「鑑賞」の各分野及び「共通事項」において、生徒の発達段階に配慮した内容になっており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・各分野とも多様な作品が掲載され、日常生活や身の回りの題材や、現在活躍がメディア等で紹介されている作家を取り上げるなど、生徒の興味・関心や創作意欲を喚起するような内容になっている。 ・1年生のデザインや工芸等の題材のはじめに「デザインや工芸の世界」の特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。
3 内容の程度	・生徒の発達段階と特性に応じた題材や表現の基礎となる技能を習得できるようになっており、適切である。
4 内容の構成及び配列	・題材を通して身につけたい力を「表現」「鑑賞」の領域ごとに、目標として示している。さらに領域ごとに活動の手立てを示している。 ・題材を分野別に分けて配列している。 ・別冊「資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取り扱い及び表現の方法等に関する資料を幅広く掲載している。 ・一つの題材で「鑑賞」と「表現」が対になって掲載されており、作品の鑑賞→発想・構想→表現と学習展開がしやすい上に、主体的・対話的で深い学びにつなげやすい構成になっている。 ・制作手順や思考方法が丁寧に紹介されており、制作にあたって生徒が思考しやすいようになっている。
5 創意工夫	・作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品全体を拡大したり、一部を原寸大の図版で示したりして、作品の大きさを伝えるための工夫をしている。 ・作品の質感を伝えるための工夫として、和紙のような風合いのある紙への印刷が取り入れられている。
6 使用上の便宜	・1年生1冊、2・3年生1冊にまとめられており、管理しやすく関連項目が探しやすい。また、柔軟に題材配置が組めるように配慮されており、各学校での年間指導計画に対応することができる。 ・教科書の大きさは、持ち運びにはよい。 ・図版や資料が大きなものが多く、また見やすく配置されている。
7 その他	・QRコードの見つけやすさと量が適切である上に、QRコードにより制作過程や解説を動画で見たり、立体作品などをさまざまな角度で見たりすることができ、制作や思考、鑑賞の助けになる。 ・生徒作品の紹介量が多い。
総合的な評価	美術の教科書として、【最も適している。】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	美術
発行者名（番号）・教科書名	日本文教出版（116） 美術
1 取扱内容	学習指導要領に定める美術の目標を達成する上において、内容が精選され、「表現」「鑑賞」の各分野及び「共通事項」において、生徒の発達段階に配慮した内容になっており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・各分野とも多様な作品が掲載され、日常生活や身の回りの題材や、現在活躍がメディア等で紹介されている作家を取り上げるなど、生徒の興味・関心や創作意欲を喚起するような内容になっている。 ・1年生のデザインや工芸等の題材のはじめに「デザインや工芸との出会い人の暮らしを豊かに」の特設ページを設け、生活の中の美術との関わりの例を具体的に示している。2・3年の下の巻頭に「社会に生きる美術の力」の特設ページを設け、異なる分野で活躍する人の言葉を紹介し、美術の学びと生活や社会とのつながりについて示している。
3 内容の程度	・生徒の発達段階と特性に応じた題材や表現の基礎となる技能を習得できるようになっており、適切である。
4 内容の構成及び配列	・題材を通して身につけたい力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」の観点別に目標として示している。 ・題材を分野別に分けて配列している。 ・巻末に「学びを支える資料」を設け、鑑賞用の資料とともに、形や色彩、材料や用具の取り扱い及び表現の方法等に関する資料を幅広く掲載している。 ・1年の美術との出会いから始まり、2・3年の上で学びあいを深め、2・3年の下で自分自身を見つめ、未来に向けて創造を深めていける構成ができており、3学年に分けて取り組みやすい。
5 創意工夫	・作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品全体を拡大したり、一部を原寸大の図版で示したりして、作品の大きさを伝えるための工夫をしている。
6 使用上の便宜	・1年生1冊、2・3年生2冊になっており、掲載内容が豊富で情報量が多いが、関連事項が上・下にまたがっており使いづらい面がある。 ・本のサイズが大きく作られ、図版や資料も大きく掲載されている。
7 その他	・QRコードにより導入動画がそれぞれの題材について設定されているが、内容的にはあっさりしている。鑑賞についてはしっかりと作られている。
総合的な評価	美術の教科書として、【適している。】

保健体育

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	保健体育科
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい保健体育
1 取扱内容	○保健編 1. 健康な生活と疾病の予防① 2. 心身の機能の発達と心の健康 3. 傷害の防止 4. 健康な生活と疾病の予防② 5. 健康と環境 6. 健康な生活と疾病の予防③ ○体育編 1. 運動やスポーツの多様性 2. 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 3. 文化としてのスポーツの意義
2 内容の選択及び扱い	○体育分野については、スポーツへの多様な関わり方や安全な行い方、文化的な意義についてまとめられ、「人々を結び付けるスポーツ」では、共生の視点が重視されている。 ○保健分野については、以下のことについて重点を置きまとめられている。 1. 今日の教育課題への対応 ①多様性・共生・個人差があることを本文の随所に記し、SOGIEの視点から性の多様性が掲載されている。 ②生命尊重・生命誕生への畏敬の念を持てるよう配慮されている。 ③情報化社会の進展とネットリテラシー・健康情報や防災情報、性情報などを正しく選択し、適切に行動することの重要性が明記されている。 ④テクノロジーの進化・健康やスポーツとの関りから考えることができる資料が掲載されている。 ⑤グローバル化・SDGs、環境、感染症、健康を守る社会の取組について、グローバルな視点で考えられる資料が掲載されている。 ⑥キャリア教育・保健体育に関する職業の人の話を掲載し、将来の社会的、職業的自立に目を向けることができるよう配慮されている。 ○学習指導要領との関連 1. 主体的・対話的で深い学びを実現するために、単位ごとに「見つける」「学習課題」「課題解決」「広げる」の4ステップを学習の流れに沿って配置し、生徒自ら課題を発見し、対話をしながら学びを深めていけるように工夫されている。
3 内容の程度	1. 1時間の内容は基本的に1見開きで構成されている。 2. 「健康な生活と疾病の予防①」では、運動、食事、休養および睡眠が健康にどのように影響するのか、豊富な資料を基に科学的に考えられるようにされている。 3. 「健康な生活と疾病の予防③」では、細菌とウイルスの違いや病原体による感染経路の違いなど、感染症の基本的な知識を、本文や資料、QRコンテンツでわかりやすく解説されている。
4 内容の構成及び配列	1. 各学年の学習内容が明確にわかるよう学年別に構成され、各学年とも、学習指導要領に示された内容の所定配当時間内で指導が可能なように構成されている。 2. 全ての単位ごとに「見つける」「学習課題」「課題解決」「広げる」の4ステップを学習の流れに沿って配置している。また、紙面デザインでそれらの項目を1本のラインでつなぎ学習の流れをわかりやすくしている。 3. 本書のみ、保健編のあとに体育編を配置しており、やや扱いづらさがある。
5 創意工夫	1. QRコンテンツが充実しており、授業の内容理解を深める多様な動画、思考を整理する思考ツール、実際に体験することが難しいことを疑似体験するシミュレーション、学びを振り返り定着させる章末問題やワークシートが用意されている。 2. 小・中・高を通じた学習の系統性に配慮し、章の扉に小学校と高校の学習内容が明記されている。 3. 命や健康を守るために必要なスキルを確認できるように、巻末スキルブックが新設されている。
6 使用上の便宜	1. 教師用指導書として、指導編（朱書）、研究編、スキルポスター、指導書コンテンツライブラリー、指導者用デジタルブックがセットになっており、教材研究や授業の準備がしやすくなっている。 2. 随所に他教科との関連が示されている。 3. 生徒の負担に配慮し、軽量の紙を使用している。 4. 全ページカラー印刷で、再生紙・植物油インキを使用している。
7 その他	1. ユニバーサルデザインへの対応として以下の工夫がされている。 ①項目ごとの配置を固定化した紙面のデザインとしている。 ②読みやすさに優れたユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ③配色は、色彩デザインの専門家に校閲を依頼し、ユニバーサルデザインに配慮した紙面となっている。 2. 教育漢字以外の常用漢字には全てふりがながふられている。
総合的な評価	中学校学習指導要領「保健体育」科の目標を達成するにあたり、取り扱う内容の選択及び内容の程度・配列が適切である。また、様々な工夫がなされ、生徒が興味深く学習に取り組めるよう配慮された優れた構成である。【適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	保健体育科
発行者名（番号）・教科書名	大日本図書（4） 中学校保健体育
1 取扱内容	○体育編 1章 運動やスポーツの多様性 2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 3章 文化としてのスポーツの意義 ○保健編 1章 健康な生活と病気の予防 2章 心身の発達と心の健康 3章 健康な生活と病気の予防 4章 傷害の防止 5章 健康な生活と病気の予防 6章 健康と環境
2 内容の選択及び扱い	○体育分野については、オリンピック・パラリンピックに関する様々な資料を掲載し、意義や価値等の理解につなげられる工夫がされている。また、世界で活躍するアスリートや元アスリート、研究者がメッセージを掲載している。「人々を結び付けるスポーツ」では、アダプテッド・スポーツなど、年齢や性、障がいの有無に関わらず、スポーツに親しむ意義が伝わるものとなっている。 ○保健分野については、現代的な課題や社会の変化に対応して、以下のことについて重点を置きまとめられている。 ①生活習慣…運動、食生活、睡眠休養などの生活習慣と、健康とのつながりをわかりやすくまとめている。例えば『食生活と健康』では、厚生労働省、農林水産省の『食事バランスガイド』が掲載されており、食生活に関する課題を見つけやすくされている。 ②多様性・共生…多様な性についてのトピックスがあり、社会によってつくり上げられた「男性像・女性像」と、それらを理由に差別や偏見につながるがないように、個性を大切にすることがまとめられている。 ③がん教育…丁寧に解説した本文とそれを裏付ける出典の最新の資料を掲載し、がんについて正しく理解し、身近な大人や自分たちのがん予防につながる内容になっている。 ④安全教育…自然災害に対する防災教育だけでなく、自転車乗用中のヘルメットの着用の必要性、交通事故の加害責任についてなど、トピックスや資料を用いて説明している。 ⑤感染症…新型コロナウイルス感染症などのさまざまな感染症について、その原因や予防のしかたを本文や資料、活動を通して正しく理解できるようにしている。 ○学習指導要領との関連 1. 主体的・対話的で深い学びを実現するために、巻頭に「保健体育の学び方」が示され、単元ごとに「話合ってみよう」や「活用して深めよう」など、話し合う場面や学習したことを実生活につなげる項目が多く設定されている。
3 内容の程度	1. 1時間の内容は基本的に1見開きで構成されている。 2. 『喫煙と健康』では、たばこの煙による体への影響例や喫煙開始年齢と肺がん死亡率の比などがわかりやすく資料にまとめられ、説明されている。 3. 『傷害の防止』では、熱中症についての対処法をまとめており、その他の章や体育編へのリンクがあることから、予防や対処法を幅広い視野から知ることができる。
4 内容の構成及び配列	1. 各学年の学習内容が明確にわかるように学年別に構成され、各学年とも、学習指導要領に示された内容の所定配当時間内で指導が可能なように構成されている。 2. 全ての単元で本文を左ページ、資料を右ページに分けてまとめられており、本文の内容の近くに資料が無いことからやや見づらさがある。 3. 折り込みは全体の流れが一覧でわかるように工夫がされている。
5 創意工夫	1. 章扉では、小学校での既習事項・高校での学習内容を示してあり、校種間の学習がスムーズにつながるように工夫がされている。 2. 二次元コードを読み込むことで、動画やアニメーションなど、学びをサポートするウェブコンテンツを利用することができる。 3. 章末の「まとめ問題」をCBT方式で取り組むことができるようになり、効率的に自主学習を行える。
6 使用上の便宜	1. 指導者用デジタル教科書が充実しており、アンケートフォームで集約して回答を確認できるようになっている。 2. 環境に配慮した紙と植物油インキを使用し、表紙は丈夫で汚れにくい。裏表紙の学年、クラス記入欄は、3年間しようできるように配慮されていて、書きやすい加工がされている。
7 その他	1. 豊富な口絵や資料があり、興味や関心を引きやすく、実生活などにもつなげやすい構成になっている。 2. 文字の大きさ、字間・行間・書体は統一され、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。
総合的な評価	中学校学習指導要領「保健体育」科の目標を達成するにあたり、取り扱う内容の選択及び内容の程度・配列が適切である。また、様々な工夫がなされ、生徒が興味深く学習に取り組めるよう配慮された優れた構成である。【適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	保健体育科
発行者名（番号）・教科書名	大修館書店（50） 最新 中学校保健体育
1 取扱内容	○体育理論 1. 運動やスポーツの多様性 2. 運動やスポーツの効果・学び方・安全 3. 文化としてのスポーツ ○保健 1. 健康な生活と病気の予防① 2. 心身の発達と心の健康 3. 健康な生活と病気の予防② 4. けがの防止と応急手当 5. 健康な生活と病気の予防③ 6. 環境の健康への影響
2 内容の選択及び扱い	○体育分野については生徒達が興味を引くような、最近メディアでよく見るプロスポーツ選手を始め、視覚的な工夫がされている。また、オリンピック、パラリンピックに関する様々な資料も掲載されている。スポーツの歴史、スポーツを通しての多文化共生を実現できるように配慮もされている。 ○保健分野については、以下のことについて重点を置きまとめられている。 1. 生活習慣病にならないための過ごし方、生活チェックなどができるようになっている。 2. 1年生の生殖機能の成熟のあとに「性」について考える内容が用意されている。 3. 防災教育・・災害時の適切な対応が紹介されている。また、防災や被災後の健康管理について意識が高まるような内容も取り上げられている。 4. 犯罪被害の防止・・犯罪被害を回避するための行動の仕方と地域社会での取り組みが紹介されている。 5. 心の健康と個人差への配慮・・ストレスへの具体的な対処法が紹介されている。また、心配事や悩みを相談できる機関等の情報が提供されている。 6. スマートフォンと健康・・スマートフォンの普及に伴い、その使用にまつわる健康課題が具体的な事例を挙げて掲載されている。また、スマートフォンとの関わり方を考える課題も設定されている。 7. がん教育・・「がんとその予防」ではがんの症状やリスクについて、「生活習慣病・がんの早期発見とその回復」ではがん検診詳細について解説されている。また、特集資料では発展学習として、がんの進行、がんの治療法に言及し、関連資料が多数掲載されている ○学習指導要領との関連 1. 主体的な学びの実現のために、これからの見通しや興味・関心をもって臨むことができるように各学習項目の構成、導入活動などが工夫されている。また、学習項目と関連の深い記事を集めて、課題解決学習の参考資料として活用できるようになっている。 2. クラスで意見を出し合ったり、グループでは話しあったり、発表する場面が多く設定されている。 ○SDGsの達成に向けて、健康・安全、自然環境などに関わる目標と保健体育との関係について取り上げ、解説されている。
3 内容の程度	1. 見開きの中に学習内容を分かりやすくまとめ、理解を深めるための工夫がされている。 2. 実習ページがあり、イラストや鮮明な写真で分かりやすく手順を示し、各日に技能が習得できるようにされている。 3. 学びをサポートできるように充実したデジタル教材が167点用意されている。(①動画コンテンツ31点、②Web保健情報館31点、③Webワークシート48点、④保体クイズ57点) 4. 保健体育に関する様々な課題を随所で取り上げられている。特に子どもたちの心と体を取り巻く健康課題についての正しい知識とそれらの対処法について、資料ともに掲載されている。
4 内容の構成及び配列	1. 教科書全体的に3ステップ（①課題をつかむ、②本文や資料を通して知識を身につけ、考える、③知識のほり下げ、まとめ、振り返り）の学習の流れになっている。そのことで主体的学び、対話的学び、深い学びが実現できるようになっている。 2. 学習指導要領に示された配当時間数が目次で分かりやすく配列されている。 3. 全般的に文字、写真、資料が多く充実しているが、やや見づらいといった面がある。
5 創意工夫	1. 各項目の最後には、本時の学習内容を確認したり、自ら考えて・判断し・表現する力を身につけたりできるよう、「学習のまとめ」が設けられている。さらに、各章の最後には「章のまとめ」が設けられており、学びを深めることができるようになっている。
6 使用上の便宜	1. 口絵のなかで「この教科書の使い方」と「保健体育の学び方」を掲載し、学習内容と学び方が明確に示されている
7 その他	1. 視認性の高いUDフォントの使用、人物イラストの国籍や性の多様性の配慮、重要語句の振り仮名、カラーユニバーサルデザイン、カラーユニバーサルデザインの観点から色覚に関わる配色への配慮、資料は薄黄色の地色と罫線で囲み、本文とはっきりと区別できるように工夫など、全ての生徒が支障なく学習できる紙面になっている。
総合的な評価	中学校学習指導要領「保健体育」科の目標を達成するにあたり、取り扱う内容の選択及び内容の程度・配列が適切である。また、様々な工夫がなされ、生徒が興味深く学習に取り組めるよう配慮された優れた構成である。【適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	保健体育科
発行者名（番号）・教科書名	株式会社 G a k k e n （224） 新・中学保健体育
1 取扱内容	○体育編 1章 スポーツの多様性 2章 スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 3章 文化としてのスポーツ ○保健編 1章 健康な生活と病気の予防① 2章 心身の発達と心の健康 3章 健康な生活と病気の予防② 4章 障害の防止 5章 健康な生活と病気の予防③ 6章 健康と環境
2 内容の選択及び扱い	○体育分野については、豊かなスポーツライフを実現するために、運動・スポーツの意義や効果、原則などを理解するとともに、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けられるよう工夫がなされている。 ○保健分野については、現代的な課題や社会の変化に対応して、以下のことについて重点を置きまとめられている。 ①多様性の尊重や共生の視点・・包括的性教育の視点を踏まえ、文部科学省「生命（いのち）の安全教育」と関連づけて学習できるようになっている。「性の多様性」を設け、LGBTQ+や SOGI に触れるとともに、性についての心の多様性について、正しく学ぶことができるようになっている。また、多様な性の在り方に配慮し、「相手」という言葉を用いて、本文を記述している。 ②心の健康やいじめ問題・・コミュニケーション、欲求不満やストレスへの対処を充実させ、呼吸法などのリラクゼーションの実習や具体的な資料を取り入れている。いじめについてはさまざまな相談窓口があることを取り上げ、心の健康に関連した重要な健康課題として生命の大切さについて考えられるようになっている。 ③防犯・防災教育・・自然災害における安全確保の内容を充実させ、過去の大きな災害から学ぶ教訓の形で展開されている。また、保健と体育の連携を図り、災害から身を守るための体力の必要性についても取り上げられている。 ④新しい感染症の予防・・新型コロナウイルス感染症などさまざまな感染症について、正しい知識を身に付け、予防や回復について考えることができるようになっている。人権上の問題にも触れられている。 ⑤がん教育・・豊富な資料を基に、がんについて科学的に理解できるようになっている。また、がん医療の現場で働く医療ソーシャルワーカーを紹介し、キャリア教育にもつながられるようになっている。 ○学習指導要領との関連 1. 主体的・対話的で深い学びを実現するために、1時間の主な流れを「ウォームアップ（課題の発見）」→「エクササイズ（課題の解決）」→「学びを生かす（学びの活用）」→「とりくめター（自己評価）」とすることで、主体性を大切にし、興味・関心を高めて学習を進めることができ、主体的な学びの好循環を生み出すことができるように工夫されている。
3 内容の程度	1. 1時間の内容は基本的に1見開きで構成され、見通しを持って学習できるように配慮している。 2. 生徒の発達段階を踏まえ、身近な問題、自他の問題として取り組むことができるようになっている。 3. 資料は、科学的かつ最新で信頼性のある適切なものを取り上げ、見やすく、活用しやすいように工夫されている。
4 内容の構成及び配列	1. 学習指導要領に示された内容と内容の取り扱いを基に、学年別で構成されている。 2. 系統性を重視して内容を編成し、各章の扉で小中高の内容を見通すことができるようになっている。 3. 各時間の冒頭に「学習の課題」「キーワード」を設け、学習内容を示し、本文中では、重要な語句が太字で示されている。
5 創意工夫	1. 1時間の基本の流れが構成されており、見通しを立てて学習しやすく、その繰り返しにより、課題解決的な学習を身に付けられるように工夫がされている。 2. 生徒が自ら課題を見つけ、主体的に解決していくために、学習への取り組み度合いや興味関心などのメタ認知をできるようにし、主体的な学びの循環（反復・継続的な学習）を促すように工夫がされている。 3. 教科書冒頭の口絵で、興味・関心を高めてから学習を始められるようにし、各時間の「学びを生かす」と章末の「探究しようよ!」で学習を広げたり、深めたりするための工夫がされている。 4. 一人一台端末時代の学びに対応し、個別の学びにも協働的な学びにも活用できるデジタルコンテンツがあり、自ら進んで学習できる力を身に付けるための工夫がされている。
6 使用上の便宜	1. 教師用指導書として、朱書き編、指導計画・評価編、研究編、教授ノート、指導者用デジタル教科書、掲示資料、指導資料データ、ワークシート、自習プリントがセットになっており、教材研究や授業の準備がしやすくなっている。 2. AB判を使用し大きく見やすい紙面となっている。 3. ブロック単位のデザインを採用しており、見る順序などがわかりやすくなっている。 4. 巻頭でイラスト付きの「学習の進め方」が掲載されている。 5. 必要に応じて、拡大教科書やデジタル教科書の発行がある。
7 その他	1. 文章の表現・表記は、生徒に無理なく理解できる簡潔で平易なものとし、UDフォントを使用し、文字間や行間を広めにとり読みやすさに配慮している。 2. イラストは、多様性に配慮し、登場する人物の男女比率、役割・背景などに偏りなく表現している。 3. サステナビリティに配慮し、目にやさしい色合いの用紙や植物性インキを使用しており、3年間の使用に耐えられるように特殊加工で堅牢に仕上げられている。
総合的な評価	中学校学習指導要領「保健体育」科の目標を達成するにあたり、取り扱う内容の選択及び内容の程度・配列が適切である。また、様々な工夫がなされ、生徒が興味深く学習に取り組めるよう配慮された最も優れた構成である。【最も適している】

技術・家庭

(技術分野)

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	技術・家庭科（技術分野）
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
1 取扱内容	教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択及び扱い	生徒の発達段階に合わせて問題解決に取り組めるよう、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。SDGsについても視覚化。
3 内容の程度	多様な「問題解決例」を数多く取り上げ、座学と実習のバランスを考慮しながら学校の実態や生徒の個性に応じた実践的・体験的な学習活動が行えるように工夫されている。
4 内容の構成及び配列	・本文・イラスト・写真・図表等の配分は適切で、かつ関連を持たせた構成にしている。指導計画等に応じて活用できるよう、図表などの資料が充実している。学習の流れが見える紙面構成もよく考えられている。 ・技術の見方・考え方を働かせた深い学びになるように、「最適化の窓」をガイダンスに配置するなど随所で工夫がされているほか、技術による問題解決が発達段階に応じて進めることができるように配慮されている。
5 創意工夫	・技術による問題解決をどのように進めていくかを分かりやすく示すために、「問題解決」の道筋が見えるようにし、次に「多彩な問題解決の例」を示している。これにより生徒の興味関心を引き出し、発達段階や学校地域の実態に即して選択できるように工夫されている。 ・基礎の技能を押さえる「TECH Lab」を新設し、生徒のつまづきやすい内容や安全に実習を行うポイントなどをまとめている。 ・特に、プログラミングの基本の理解や問題解決を無理なく展開できるようにし、情報の技術をわかりやすくするなどの工夫がされている。 ・デジタルコンテンツなどが充実しており、Society5.0時代の新しい授業づくりに適切な教科書になっている。(QR コンテンツは50→400以上に増加) ・デジタル教科書には、Google 翻訳(133言語)に対応し外国籍の生徒にも対応。
6 使用上の便宜	・各節では、「目標」「学習課題」「技術の例」あるいは「問題解決例」などを、全見開き同じ位置に配置し、生徒が系統立てて学習できるようにしている。 ・書体は全てユニバーサルデザインフォント（UD 書体）を使用し、色覚特性にも配慮したデザインで、可読性を高めるように配慮されている。 ・大判の紙面を有効に使い、資質・能力の育成や、主体的・対話的で深い学びなど、学習指導要領の改訂に関わる情報量を充実させながら、見やすい紙面が実現されている。
7 その他	・基礎的・基本的な学習内容は本文ページで漏れなく押さえ、その他の豊富な資料や問題解決例は本文ページと明確に区別し、かつ選択性を持たせているため、新任や臨時免許の指導者にも使いやすい教科書になっている。 ・将来の仕事の多彩なロールモデルを紹介し、進路にも配慮している。
総合的な評価	【適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	技術・家庭科（技術分野）
発行者名（番号）・教科書名	教育図書（6） 新技術・家庭 技術分野 明日を創造する
1 取扱内容	教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択及び扱い	・基礎・基本の知識と技能を1章で習得できるような章構成にし、幅広い知識と教養を身につけられるよう配慮されている。 ・各編のまとめでは、技術の問題解決について考えたりまとめることで、思考力・判断力・表現力の評価ができるように配慮されている。 ・SDGsについて取り上げ、持続可能な社会の構築が考えられるよう配慮されている。
3 内容の程度	・各章の構成を学習指導要領と同様の配列とすることで、生徒の発達段階に応じて技術の見方・考え方を、関心の喚起から技術の応用へと徐々に育まれるように工夫されている。授業の流れもつかみやすい配列でもある。 ・1章、2章では、発達段階に応じた実習課題を配することで、生徒自らの体験を通してものづくりが行えるように配慮されている。
4 内容の構成及び配列	各編の構成が学習指導要領と同様に系統的な内容の配列で精選されており、指導・評価の一体化を図り評価が行いやすい構成になるよう工夫されている。
5 創意工夫	・別冊の「スキルアシスト(技術分野)」では、各編における基礎・基本となる技能について写真や図で順序だててまとめることで、生徒が理解しやすく、技能の定着がしやすいように工夫されている。同様にQRコンテンツ(120強)が充実しており、「問題解決が学べるプログラム」、「指導と評価をサポートするワークシート」「題材例政策動画・画像」「基礎技能動画・画像」がある。 ・実習題材の学習でも、つくるだけ、育てるだけに終始するのではなく、「振り返る」ことを章の最後に必ず入れることによって、学んだ意義や必要性を実感できるように配慮されている。
6 使用上の便宜	・印刷は明るく目にやさしい色遣いで、生徒の負担にならず読みやすいよう配慮されている。 ・色遣いやフォント、余白のバランス、図の見易さなどが工夫され、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ・写真や図などの資料が大きく見え整理されていて、なおかつ机の上で場所を取らない判型が採用され、授業で使いやすいよう配慮されている。
7 その他	・実習の前には必ず作業の安全に関するページを設け、安全学習ができるように配慮されている。 ・生徒の理解度や興味・関心に応じて、積極的に学習が進められることができるよう、発展的な学習の内容がマークで明示されている。
総合的な評価	【やや適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	技術・家庭科（技術分野）
発行者名（番号）・教科書名	開隆堂（9） 技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
1 取扱内容	教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択及び扱い	・本文は、特定の事項・事象・分野などにかたよることなく、全体として調和がとれている。 ・実習例は、基本となる実習から参考・応用的なものまで、生徒がいずれも興味・関心と意欲をもって取り組めるような多様な例が扱われている。 ・SDGsについて、持続可能な社会の構築が考えられるよう配慮されている。
3 内容の程度	生徒の生活経験や発達段階及び授業時数などを十分考慮して範囲や程度が定められており、各内容の系統性も極めて適切である。
4 内容の構成及び配列	・各内容の範囲は、学習指導要領に適合していて、生徒の生活経験に十分配慮し、授業時数などの学校事情や生徒の実態にも弾力的に対応できるように工夫されている。 ・各内容の構成は、基礎・基本の習得から、多彩な例をあげて技術による問題解決の流れを明確化し、社会に目を向けこれからの技術を考える学習へと系統的に配置されている。
5 創意工夫	・各小項目の冒頭に設けられた「学習課題」を通して生徒が授業へ積極的に取り組み、主体的な学びへと向かうように配慮されている。 ・実践的、体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように、よく工夫されている。また、協同的な学習場面の充実や、実習例では問題解決の評価と改善まで考えられている。
6 使用上の便宜	・各内容は、本文、図、イラスト、写真など、いずれも正確で、極めて分かりやすく丁寧に記述されている。 ・写真や図版は分かりやすく、必要な箇所では、生徒があたかも自分が作業しているように見えるアングルで撮影した写真や図版が使用されているなど、理解を促すための工夫がよくなされている。 ・各題材にQRコードを記載することによって、生徒がより主体的に学習に取り組めるように工夫されている。
7 その他	・文章は、特別支援教育の観点から、単語が途中で改行されないようになっている。単語として認識しやすくなっている。 ・可読性の高いユニバーサルデザインフォント（UD書体）を全面的に使用しており、文字が読みやすいように配慮されている。 ・ガイダンスのページでは、受け継がれ発展する技術や日本の技術の歴史を取り上げており、生徒の関心を引き出そうとしている。
総合的な評価	【最も適している】

技術・家庭 (家庭分野)

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	技術・家庭科（家庭分野）
発行者名（番号）・教科書名	教育図書（6） 新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
1 取扱内容	教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択及び扱い	・各編の導入段階では、「見つめてみよう」で身近な事柄に関連づけた学習課題を提示し、生徒が自主的・自発的に学習できるように配慮されている。
3 内容の程度	・心身の発達段階と特性および生活経験を考慮し、生徒が意欲をもって基礎的な基本的な知識及び技術を習得できるように配慮されている。
4 内容の構成及び配列	・学習の展開を考慮し、系統的・発展的に構成されている。文章、挿し絵、図表、写真、用語などの表記は、発達段階に応じた適切なものである。 ・A 家族・家庭生活、B 衣食住の生活、C 消費生活・環境の 3 編配列になっている。
5 創意工夫	・各章の終わりには習ったことを整理し定着を図るために「学習のふり返し」が設けられている。「学びを生かそう」のページでは、自分の課題を見つめなおす機会が持ちやすいように工夫されている。 ・巻頭カラーページが豊富で興味関心を引き出しやすく工夫されている。 ・「センパイにきこう」のページも豊富でキャリア教育との連携にも配慮されている。
6 使用上の便宜	・表紙製本ともに丈夫で、ユニバーサルデザインの考え方にもとづいて編集されている。大切な用語は青色の文字になっており、よく目立つようになっている。 ・学習に利用できるシールや 80 本の動画、QR コンテンツも 136 個活用できるように工夫されている。 ・右側には色別で章が表されており、使用しやすくなっている。 ・写真や図などの資料が大きく示されていて、印刷も明るくやさしい色使いで読みやすく配慮されている。
7 その他	・食品群の数字がサイコロで表記されており、食品群別摂取量のめやすの表示も詳しくわかりやすく工夫されている。 ・生徒の理解度や興味関心に応じて、積極的に学習できるよう発展的な内容や他教科とのリンクなど、わかりやすくマークで示されている。
総合的な評価	【やや適している】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	技術・家庭科（家庭分野）
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
1 取扱内容	教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択及び扱い	・学習の導入ページでは、目標、レッツスタート、学習課題という統一した表記がなされ、生徒がスムーズに学習でき考えを深められるように工夫されている。 ・各編とも他教科の学習や道徳と関連がある内容、小学校で学習した内容を随所に盛り込み、系統的かつ教科横断的に指導できる配慮がされている。
3 内容の程度	・心身の発達段階と特性および生活・経験を考慮し、生徒が意欲をもって基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるよう配慮されている。
4 内容の構成及び配列	・学習の展開を考慮し、系統的・発展的に構成されている。文章、挿し絵、図表、写真、用語などの表記は、発達段階に応じた適切なものである。 ・ガイダンス、食生活、衣生活、住生活、消費生活、家族・家庭生活の順に学習内容が配列されており、学習の流れやまとまりがわかりやすい。
5 創意工夫	・ガイダンスでは記入できるページが多く、自分の生活を見つめて課題をつかみ、学習の展望をもてるよう工夫されている。 ・各編とも統一した学習の流れで構成され、学習する段階や目的がわかりやすく生徒が自主的に学びやすいよう工夫されている。 ・各編の終わりに学習のまとめが設定されており、学習内容を実生活に活用する方法を考えることができるように工夫されている。 ・「プロに聞く」のページも多くキャリア教育との連携も図れるようになっている。
6 使用上の便宜	・各編で色別に章のインデックスが設けられ、学習段階がわかりやすいよう工夫されている。 ・各ページ右上に二次元コードが表示されており、必要に応じて使用しやすく工夫されている。デジタルコンテンツは373と豊富で使用しやすいようになっている。 ・紙面が4分割され、資料や文字が大きく文章は必要最低限の内容に精選されており見やすく配列されている。
7 その他	・家族のさまざまな形態をアニメとつなげて表したり、熱源にIHの説明が加わったり、ファミリーサポートセンターを紹介したりと時代の流れに対応した内容が多く工夫されている。 ・調理実習例ではポイントを詳しく示し、生活に還元できるよう配慮されている。 ・商品購入のシミュレーションや部屋の使い方など実際の生活場面を想定して考えを深めやすくなっている。
総合的な評価	【適している】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	技術・家庭（家庭分野）
発行者名（番号）・教科書名	開隆堂（9） 技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
1 取扱内容	教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める技術・家庭科の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択及び扱い	・学習の導入では身近なことから考えやすい課題を提示し、「考えてみよう」「話し合ってみよう」「発表しよう」等対話的な学びを促す工夫がされている。 ・実習例は基本となる実習から参考、応用的なものまで生徒が関心、意欲をもって取り組めるよう多様な例が示されている。 ・参考資料が豊富で学習内容と生活を関連付けて学びを深めることができるよう工夫されている。
3 内容の程度	・心身の発達段階と特性および生活・経験を考慮し、生徒が意欲をもって基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるよう配慮されている。
4 内容の構成及び配列	・学習の展開を考慮し、系統的・発展的に構成されている。文章、挿し絵、図表、写真、用語などの表記は、発達段階に応じた適切なものである。 ・A 家族・家庭生活、B 食生活、衣生活、住生活 C 消費生活・環境という順に配列されている。
5 創意工夫	・各編において学習の見通しがもてるよう目標を示し、学習後には「学習のまとめ」で基礎的・基本的な知識や技術、また自分の生活につなげて活用できるように配慮されている。 ・様々なマークが効果的に使用され、他教科、小学校での学びとの関連や、安全衛生のための注意点などが捉えやすく工夫されている。 ・「先輩からのエール」では多様な職業の方々の生き方に学ぶことができるよう内容が豊富に工夫されている。
6 使用上の便宜	・表紙が厚くしっかりしていて、3年間の実習での使用等も考慮し耐久性をもたせている。カラーバリアフリーデザインや環境に配慮した装丁になっている。180個のQRコンテンツがあり、必要に応じて使用できるよう工夫されている。 ・図、イラスト、写真が効果的に組み合わせられており、文字の大きさ、行間、書体なども適切である。
7 その他	・防災関連の内容が充実しており、安全な住まいの学習で効果的に意識づけられるよう工夫されている。 ・普段目にすることが少ない栄養素や繊維の写真などが大きく示され、より深く理解を促すよう配慮されている。 ・ヤングケアラー、里親、カーボンニュートラル、AI、フードバンクなどといった時代の流れの応じた語句を取り入れてわかりやすく説明している。 ・必要に応じて記入できるページもあり、活用しやすく工夫されている。
総合的な評価	【最も適している】

英語

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	英語
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） NEW HORIZON English Course
1 取扱内容	① 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標及び学習指導要領に定める外国語（英語科）の目標を達成するために効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択及び扱い	① 基本的テーマ・題材は、多文化共生や国際協力、生命の尊さ、人権など SDGs の目標に関連させ、生徒の心を動かす豊富な題材に変わりはない。 ② 小中学校の接続については、1年生の前半の単元を小学校の学習内容の接続期間として充て、言語材料や単語を余裕を持ってふり返る構成にしている。教科書の Unit と Unit の間に、小学校の単語を用いて「音と文字」の関係を学ぶ Sounds and Letters が設けられている。 ③ 「内容が多くて指導時間が足りない」「特に単語の指導が大変である」等の教員の意見に対して、配当時数を削除、800語に厳選など、小学校の単語の定着後のバラつきをフォローすることを見据え改訂している。
3 内容の程度	① 言語材料、言語活動、題材内容等すべてにおいて、平易なものから段階的に指導できるように配慮されており、コミュニケーションのレベルや題材の扱いなども生徒が段階的に理解・吸収できるものであると考える。 ② 「英語に苦手意識を持つ生徒や英語嫌いの生徒をなくしたい」等の教員の意見に対して、アニメ教材、国際交流体験、単語と文法クイズ、ゲーム等自分のペースに合わせられるコンテンツを強化している。
4 内容の構成及び配列	① 「基本事項をていねいに指導したい」等教員の意見に対して、1年の前半で be 動詞や一般動詞等の文法配列を見直し、2・3年については、Unit の前半に、より重要な文法事項を配慮し、後半の長文パートでの文法事項を軽めにする配置をしている。 ② 4技能5領域の活動がバランスよく配置されている。文法内容の練習問題が同一ページに収めている。
5 創意工夫	① 文字習得に負担がないように開発したユニバーサルデザイン書体を採用や練習問題の配置等レイアウトデザインを配慮している。 ② 本文、語句クイズ、Key Sentences の解説動画、学ぶ方動画、Small Talk の練習用動画、用例辞典、デジタルマップ等のコンテンツが充実している。
6 使用上の便宜	① 小学校で学んだ表現で「聞く」「話す」活動から授業に入ることで、同じ活動に「聞く」⇒「話す」⇒「読む」⇒「書く」活動を漆塗りのように何度も触れるよう、Unit 構成に工夫をしている。
7 その他	かねてから内容・構成においては総合的にバランスが良いとされてきたが、一方で小中の接続に関わっては、語数や文法の配列など課題も出されていた。そのことをおおむね改訂していると捉える。
総合的な評価	4技能5領域の活動がバランスよくできるよう考慮され、3年間を通して、発達段階に応じて英語での表現の幅が広げられるようになっており、【最も適している】教科書である。

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	英語
発行者名（番号）・教科書名	開隆堂（9） SUNSHINE ENGLISH COURSE
1 取扱内容	① 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標及び学習指導要領に定める外国語（英語科）の目標を達成するために効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択及び扱い	① SDGs の 17 目標をふまえた内容構成で、内容（題材）が、生徒にとってなじみやすい内容であり、今日的な課題を扱う Reading 等も読みやすく興味関心が持てるものである。 ② プレゼンテーション力を高める Our Project はテーマが楽しく、活動もスモールステップで取り組めるよう、以前の構成より回数を増やしている。
3 内容の程度	① 各 PROGRAM のセクションは Scenes, Tuning in（題材の背景知識）、Review and Retell（自分の言葉で再話）、Action（自己表現活動）で構成されている。文法事項がまとまっていて取り扱いやすいので、生徒の理解も深まりやすいのではないかと。 ② 1 年生が PROGRAM 8 までパート 2 までの構成で、学習事項が過多となっていないこともやりやすさを感じる。
4 内容の構成及び配列	① 詰め込みすぎを感じない／圧迫感はないよう工夫されている。 ② 本文、挿絵、写真、図表、練習問題、資料等が、題材に応じてカラフルに「豊富」に配置され、キャラクターも一貫性がある。一方で目移りがしやすく、ごちゃごちゃにしている印象をもつ学習者もいるように思う。
5 創意工夫	① 1 年生最初に Get Ready が設けられ、小学校からの円滑な移行ができる。 ② 巻末には CAN-DO リストが示され、生徒が自ら自発的に到達度チェックができるよう仕向けている。併せて 1 年生ではアクションカード、2、3 年生では Small Talk が付録としてある。
6 使用上の便宜	① 「音読チェック」「調べよう！」できたかな？GOAL」など自発的な学習をサポートする小窓や吹き出し（ポイント）なども充実している。 ② QR コンテンツを利用し、家庭での自主学習等にも接続できる。持ち帰りタブレットとの連携を図りたい。
7 その他	
総合的な評価	3 年間を通して、発達段階に応じて英語での表現の幅が広げられるようになっており、【適している】教科書である。

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	英語
発行者名（番号）・教科書名	三省堂（15） NEW CROWN English Series
1 取扱内容	① 教育基本法に定める教育の目的、目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める外国語（英語科）科の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択及び扱い	① 取り扱う題材やテーマが具体的で感情移入しやすい。以前から掲載されている佐々木貞子やキング牧師など教員が扱いやすいものも多い。 ② デジタルコンテンツも充実しており、音読を AI に発音チェックしてもらえるものなどもあり、教員も使ってみたいと思わせるものであった。 ③ 日本の伝統文化、異文化、歴史など英語を通して学ぶ意義のあるものが題材として取り上げられているのがよい。
3 内容の程度	① 1 年の頭から内容は濃い、それを補うための小学校の内容も振り返りながら学習を進められるようである。 ② 取り上げられている題材が深く、生徒に考えさせることが多くなり、日常会話のコミュニケーションスキルを学んだり練習したりする時間を確保するのが難しそうに感じる。
4 内容の構成及び配列	① 各レッスン（HORIZON という UNIT）の Part1、Part2 で基本や進出文法事項を抑える。 ② Part1～2 に続いて Side Story、Small Talk Plus、Goal Activity Write/Speak/Read とつながっていく。単元の Goal Activity に向けて段階を経ていくことができる。 ③ SmallTalk から自然に本文に移行する構成がよい。 ④ 文法におけるドリルの数は少ないが、4 技能がうまく構成されている。
5 創意工夫	① 内容の構成にもかかわっているが、教科書の順を追っていくことで内容理解を深めていくことができるよう工夫されているので、使いやすい。 ② デジタル教材も充実しているので、自宅学習にもつなげやすい。 ③ 紙面が派手で目移りしやすいように感じるが、親しみやすさを感じる。
6 使用上の便宜	① 文字が見やすいフォントと大きさである。 ② 現在使っている NEW HORIZON と比べて、内容や構成などに違和感を感じなかった。もちろん慣れは必要であろうが、180 度変わって困るということはない。 ③ 1 ページ 1 ページの情報量が多いので、見慣れないうちはごちゃついているように見えるかもしれない。
7 その他	
総合的な評価	日本の伝統文化、異文化、社会理解、人間理解等について、幅広く題材が扱われており、言語材料の配置、内容の程度も発達段階に応じたものになっており、【適している】教科書である。

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	英語
発行者名（番号）・教科書名	教育出版株式会社（17） ONE WORLD English Course
1 取扱内容	① 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める外国語（英語科）科の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択及び扱い	① 生徒にとって身近な話題や、生徒に幅広く興味を持たせる内容である。 ② 1 年生の初めはマンガのような構成で生徒にとっては親しみやすい。 ③ 3 年生の Lesson 6 のディスカッションや Lesson 7 のディベートが単元の本文として出てくるのが良い。
3 内容の程度	① 各 Lesson で展開される分野は、文化・環境技術・コミュニケーションとバランスよく扱われている。特に SDGs を中心に 3 年間を通してテーマがあげられていることは好感が持てる。 ② 歴史的事実に関する題材は少ない。 ③ 1 年生の各 Lesson のパートごとに出てくる本文の量が比較的多いので、学習者にとって負担に思われる。
4 内容の構成及び配列	① 扉→各 part(1 と 2 は Think & Try!、3 は Read & Try!)→Task・Grammar それぞれのページに本文内容に対するワークがあり、単元の終わりにはタスクと文法のまとめがあるので生徒にとってはわかりやすい。 ② Activities Plus での Questions & Answers が日常のコミュニケーションにつながる良い練習になる。 ③ Tips も生徒にとっては英語学習を深めるのに良い。 ④ 1 年生の Lesson1～Lesson4 にかけては、小学校で学習していることのふり返りをかねているとはいえ、文法を学ぶ際に be 動詞と一般動詞が同時に出てくることは混乱を招きかねない。特に、What is your favorite～？と What do you like？はほぼ同じことを質問する内容だが、初期の英語学習者にとっては英文の構成を理解するのは難しいように感じる。
5 創意工夫	① 本文を音読した回数を記入する欄が日本式ではないところなど、多様性が見える。 ② 全体的にレイアウトなどはスッキリしている印象である。
6 使用上の便宜	① 巻末の Word List には品詞の注意書きもあるのがよい。 ② 学習者用デジタル教科書に、本文のカラオケ表示があるのがよい。
7 その他	
総合的な評価	3 年間を通して、発達段階に応じて英語での表現の幅が広げられるようになっており、【やや適している】教科書である。

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	英語
発行者名（番号）・ 教科書名	光村図書出版（38） HERE WE GO ENGLISH COURSE
1 取扱内容	① 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習指導要領に定める外国語（英語科）の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択 及び扱い	① 1 年は身近な話題が多く、学年が上がるにつれて福祉や災害、平和や AI など、多岐に渡る題材を扱っている。 ② 1 年生最初の導入教材が多く、小学校から中学校にかけての段差が大きくならないための配慮を感じる。
3 内容の程度	① 1 年生の本文の語数は平均的で、負担は少ないが、3 年生になると語数は多い。
4 内容の構成 及び配列	① 1 年生のユニット 3 までは本文の対話がマンガの構成になっており、親しみやすく、対話をイラストでイメージしながら理解できる。 ② ユニット毎に Goal を設け、振り返りやまとめができる構成となっている。 ③ Daily Life のコーナーは日常の場面を想定しやすい内容となっているが、 Key Sentence など重点を置くものが分かりにくい。 ④ 1 年生は b e 動詞と一般動詞、 can が別々に扱われているのが良い。また、2 年生では接続詞 when, if, because, that がバラバラのユニットで扱われているので、学習者が混乱してしまう恐れがあると考えられる。3 年生では関係代名詞を先に学んでからの接触節や分詞での後置修飾になるので、授業者としては教えやすい順序である。
5 創意工夫	① 帯教材や巻末資料が充実している。 ② 毎セッションでのパターンプラクティスは無いが、 Listen, Speak, Write のコーナーがあり、少しずつ慣れることができる。
6 使用上の便宜	① CAN-DO リストが明確化されている。 ② QR コードを読み取ると、本文の音声だけしかないので、活用の方法や頻度が限られてしまう。デジタル教科書の見本版も同様である。
7 その他	
総合的な評価	題材や語数、難易度など、発達段階に対応させており、【適している】教科書である。

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	英語
発行者名（番号）・教科書名	啓林館（61） BLUE SKY English Course
1 取扱内容	① 教育基本法に定める教育の目的・目標等、学校教育法に定める義務教育のも表頭及び学習指導要領に定める外国語（英語科）の目標を達成するために、効果的に学習できる内容を適切に扱っている。
2 内容の選択及び扱い	① AI 利用についてなどの、近年話題となっている題材や、広島の前爆の話題のような平和・人権についての題材も取り入れている。
3 内容の程度	① 難易度は適切であるが、単元ごとの想定学習時間数に対して、語彙の数や内容の量が多く感じられる。
4 内容の構成及び配列	① Unit がそれぞれ Part1～3 で文法の導入をするという構成になっている。 ② 特に 1 年生の最初で、be 動詞と一般動詞を分けて導入している。この点については、生徒の混乱を減らすことができると期待する。 ③ 2 年生の内容では、接続詞が複数の Unit にまたがってバラバラに出てくる。これについては生徒が混乱することがあるかもしれない。 ④ 3 年生の内容は、これまでの教科書や他社の教科書と大きな違いはない。
5 創意工夫	① 各 Unit をそのまま進めることで、Part1～3 の導入の後に、まとめ、インプット活動、アウトプット活動に取り組めるような工夫がなされている。
6 使用上の便宜	① 紙面にゆとり、余白が多いため、圧迫感は少ない。 ② 1 年生の最初から文字が小さく書かれており、加えて対話文等の内容が長く、語彙も多い。小学校で学習した内容について、生徒はすでに理解し、定着していると授業者に感じさせてしまうかもしれない。
7 その他	
総合的な評価	全体を通して、3 年間を通して、発達段階に応じ英語での表現の幅が広げられるようになっており、【やや適している】教科書である。

道德

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	道徳
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（2） 新編 新しい道徳
1 取扱内容	・学習指導要領の目標を達成する上において、各学年道徳的価値 4 観点、内容項目 22 項目を網羅している。物事を多面的・多角的に考え、人間の生き方についての考えを深められるように配慮されており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・全学年「いじめ」「いのち」に関わる学習を重視しており、教材が多い。 ・人間としての生き方についての考えを深めるため、様々な人物を教材として取り上げている。 ・現行の教科書より長く親しまれてきた定番教材の扱いが増え、人間としての生き方をより深く考えられるようになっている。
3 内容の程度	・難しい言葉の使用を控え、わかりやすい表現になっている。 ・読み物教材以外のイラストや漫画を教材にしたものもあり、生徒が興味を持ちやすく、教材の内容を理解しやすいものがある。 ・中学生が主人公の教材が多く、自分事として考えやすい。
4 内容の構成及び配列	・オリエンテーションから始まるので、道徳の授業で何をすればいいのかわかりやすい。授業の基本的な流れや学び方も学習することができる。 ・内容項目 22 項目を巻頭に配置している。 ・全学年「いじめ」「いのち」に関わる教材 3 本をユニット化して学習し、より深く学べるよう構成している。 ・各学年とも、5 月頃に「いじめ」ユニット、9 月頃に「いのち」ユニットが配置され、学級集団の高まりを意識した構成となっている。 ・三年間かけて主人公も生徒と一緒に成長するストーリーから学ぶ教材がある。 ・巻末に「キャリア教育」「健康・安全・防災」「国際理解」などのテーマで学習を振り返るページがある。 ・付録で小学校でよく扱われる教材を掲載、過去の自分と比べ、成長を実感するきっかけになっている。
5 創意工夫	・各教材の冒頭に、漫画の 1 コマ等で投げかけがあり、生徒の興味関心を引く工夫がされている。 ・各教材の冒頭につけられた題目が考えることの見方となっている。 ・「道徳×情報モラル」「道徳×防災」など、身近な課題を道徳という切り口で学ぶことが分かりやすく示している。 ・NHK for School の動画を読み物教材としたものは、紙面でも動画でも学ぶことができ、文章を読むのが苦手な生徒も前向きに取り組める。 ・教材の読み取りに困難を抱える生徒や外国籍の生徒などが取り残されないよう、読み物教材を 4 コマ漫画で分かりやすく説明したものがある（各学年 1 つ） ・付録で SDGs との関連をマークを付けてわかりやすく示している。 ・心情円（紙、デジタル）で、言葉で表現しにくい気持ちを表現する。 ・各教材冒頭の 1 コマ漫画、QR コードで見られる映像コンテンツ、Plus というコラムページなど、情報が多く、話し合う時間を確保するのが難しい。
6 使用上の便宜	・B5 版より大きい。UD フォント使用。
7 その他	・挿絵がポップで親しみやすい。
総合的な評価	【適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	道徳
発行者名（番号）・教科書名	教育出版（17） 中学道徳 とびだそう未来へ
1 取扱内容	・学習指導要領の目標を達成する上において、各学年道徳的価値4観点、内容項目22項目を網羅している。物事を多面的・多角的に考え、人間の生き方についての考えを深められるように配慮されており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・教材数、付録の数、重点項目「いじめ」「いのち」、新旧（定番教材）のバランスが良い。 ・全学年「いじめ」「つながり（持続可能な社会）」「いのち」に関わる学習を重視しており、教材が多い。 ・現行の教科書より人間としての生き方についての考えを深めるため、様々な人物を教材として取り上げている。 ・長く親しまれてきた定番教材を扱い、人間としての生き方をより深く考えられる。
3 内容の程度	・難しい言葉の使用を控え、わかりやすい表現になっている。 ・生徒が無理なく読める分量である。学年によってより高度な内容を扱い、生徒の発達段階に配慮している。 ・読み物教材以外の詩、イラストや写真、漫画を教材にしたものが多く、生徒が興味を持ちやすく、教材の内容を理解しやすいものがある。 ・中学生が主人公の教材があり、自分事として考えやすい。 ・文字の量や大きさが見やすい。文字だけではなく写真やイラストがたくさんあり、見やすい。 ・生徒が無理なく読める量で、内容を理解しやすい。
4 内容の構成及び配列	・オリエンテーションから始まるので、道徳の授業で何を学ぶか、どう学ぶかわかりやすい。授業の基本的な流れや学び方も学習することができる。 ・内容項目22項目を巻末に配置、振り返りにしている。 ・全学年「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」に関わる教材2本をユニット化して学習し、より深く学べるよう構成している。 ・各学年とも、5月頃に「いじめ」ユニット、9月頃に「いのち」ユニットが配置され、学級集団の高まりを意識した構成となっている。 ・各学年7月頃に「つながり（持続可能な社会）」に関わるユニットが配置され、夏季休業などで自ら学ぶきっかけになる。 ・三年間かけて主人公も生徒と一緒に成長するストーリーから学ぶ「けやき中シリーズ」の教材がある。 ・巻頭に「生命の尊さ」「いじめ・人権」「情報モラル」などのテーマで学習内容を整理したページがある。 ・小学校で扱われる教材を掲載、過去の自分と比べ、成長を実感するきっかけになる。 ・小学校の教材、中学校1～3年の3年間を見通した教材があり、系統性がある。 ・教材名の冒頭にある問いは、学習の見通しを持ったり、テーマを共有したりできて良い。生徒が本文を読む助けになる。スムーズな授業の導入につながる。 ・「学びの道しるべ」は視点を明確にした3つの発問は、授業展開しやすく、自分に引きつけて考えやすい。 ・小学校との連携1年生「ともだち」・2年生「金のおのその後」「わたしのせいじゃない」写真3枚追加が良い。 ・「よりよく生きる喜び」の項目において、各学年2つずつ用意されている。
5 創意工夫	・情報モラルの教材をスマホの画面風にするなど、生徒が身近に感じやすい工夫がある。 ・巻頭でSDGsとの関連を紹介、コラムでも持続可能な社会についての情報があり、より深く知ろう、考えようというきっかけになる。 ・デジタル心情メーターで、言葉で表現しにくい気持ちを表現する。 ・QRコードで見られる「まなびリンク」の映像コンテンツや、Plusとひろばというコラムページなどの情報が精選されており、話し合う時間を確保しやすい。 ・様々な角度から物事を考えたり、自分の考えをもとに話し合ったり、交流できるような発問が工夫されている。
6 使用上の便宜	・B5版。UDフォント使用。 ・本文下段の行番号、注釈、ルビなど配慮が見られる。
7 その他	
総合的な評価	【最も適している】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	道徳
発行者名（番号）・教科書名	光村図書（38） 中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
1 取扱内容	・学習指導要領の目標を達成する上において、各学年道徳的価値4観点、内容項目22項目を網羅している。物事を多面的・多角的に考え、人間の生き方についての考えを深められるように配慮されており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・全学年「人権」に関わる学習を重視しており、教材が多い。 ・人間としての生き方についての考えを深めるため、様々な人物を教材として取り上げている。 ・定番教材の扱いは多くないが、読み応えのある教材が多く、人間としての生き方をより深く考えられるようになっている。
3 内容の程度	・学年が上がるにつれより高度な内容を扱い、生徒の発達段階に配慮している。 ・読み物教材以外の詩や漫画、写真を教材にしたものもあり、生徒が興味を持ちやすいが、学年が進むにつれ、読み物教材が増え、文章も長いものが増えている。 ・中学生が主人公の教材があり、自分事として考えやすい。
4 内容の構成及び配列	・各学年の最初、道徳の授業のオリエンテーションそのものを教材にしている。内容項目や「答えは一つではないといった」こと、「道徳道案内」としたテーマ別のページなど、道徳の授業で何を学ぶのか、どうやって学ぶのかわかりやすい。 ・内容項目22項目を巻頭に配置、イラスト化してありわかりやすい。 ・全教材を「いじめ」「責任」などのテーマを持ったユニットに分け、いくつかの教材でより深く学べるように構成している。 ・各学年とも、5月頃に「いじめ」ユニット、9月頃に「いのち」ユニットが配置され、学級集団の高まりを意識した構成となっている。 ・巻頭に「キャリア教育」「健康・安全・防災」「国際理解」などのテーマで学習内容をまとめたページがある。 ・付録で小学校でよく扱われる教材を掲載、過去の自分と比べ、成長を自覚し、答えが一つではないことを実感できるようになっている。
5 創意工夫	・「まなびの記録」ページを活用すると、1年間の道徳授業で学んだことが1枚で見渡すことができる。 ・情報モラルの内容を扱った内容は「考えよう」という、何を考えるか、どのように考えるのかが分かりやすく示されている。 ・ユニット教材を分かりやすくするため、「まなびをプラス」と表記している。 ・各教材、最後に「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」が設けられ、より深く考えること、多面的多角的にとらえること、学んだことを他教科や日常などにつなげることが意識できるようになっている。
6 使用上の便宜	・B5版より大きい。UDフォント使用。 ・表紙裏の詩、本書で学ぶ皆さんへ、もくじのフォントが小さく読みにくい。
7 その他	
総合的な評価	【やや適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	道徳
発行者名（番号）・教科書名	日本文教出版（116） 中学道徳 あすを生きる
1 取扱内容	・学習指導要領の目標を達成する上において、各学年道徳的価値4観点、内容項目22項目を網羅している。物事を多面的・多角的に考え、人間の生き方についての考えを深められるように配慮されており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・全学年「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」に関わる学習を重視しており、教材が多い。 ・多様性、SDGsについての考えを深めるため、様々な人物を教材として取り上げている。 ・長く親しまれてきた定番教材を扱い、人間としての生き方をより深く考えられる。 ・キャリア教育の中に、人権・福祉・ウェルビーイングを組み込んでいる。
3 内容の程度	・難しい言葉の使用を控え、わかりやすい表現になっている。 ・学年が上がっても読みやすい教材が多い。考える内容は高度になっており、生徒の発達段階に配慮している。 ・読み物教材以外の詩や漫画を教材にしたものもあり、生徒が興味を持ちやすいが、学年が上がると読み物教材が増える。 ・中学生が主人公の教材が多く、自分事として考えやすい。 ・比較的日常に近いものが多い。（→経験の浅い教員にも扱いやすい教材） ・情報モラルについて考えることができる教材が全ての学年に掲載されている。
4 内容の構成及び配列	・オリエンテーションから始まるので、道徳の授業で何をすればいいのかわかりやすい。ミニ教材を使い、授業の基本的な流れや学び方も学習することもできる。 ・内容項目22項目を巻末に配置している。「キャリア教育」「健康・安全・防災」「国際理解」などのテーマも表記してあるが、生徒にはわかりにくい。 ・全学年「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」に関わる教材を計5つユニット化して学習し、より深く学べるよう構成している。 ・各学年とも、5月頃と9月頃に「いじめ」ユニット、1年生は1月頃に「いじめ」ユニットが配置され、「長期休み明けにいじめ行為が強くなる」というデータを踏まえた構成となっている。 ・はじめに「ミニ教材」があり、授業の流れが分かる。 ・「いじめ」「人権」「命の尊さ」に関わる内容を重視している。特に1年生では、いじめと向き合う1～3が多い。 ・各教科や他教科の教育活動との関連から学習することができるようになっている。
5 創意工夫	・教材の冒頭に登場人物の顔が示されており、読み取りに困難を抱える生徒や外国籍の生徒などが取り残されにくい。 ・ダイナミックなビジュアルのものが多く、教材に興味を持ちやすい。 ・各学年7つのコラムがあり、より深く知ったり考えたりするのに役立つ。 ・各教材にQRコンテンツが用意され、外部リンクなども充実している。 ・別冊「道徳ノート」を活用することも、ワークシートを活用することもできる。また、道徳ノートに手書きされた文字をデータ化することができ、評価、授業改善に役立つ。 ・今、中学生に人気の漫画を教材にしている。 ・現代の著名人の「あすへのメッセージ」（～さんからあなたへ）を扱うことで、身近な教材になるように配置されている。自分事として考えやすくなる。 ・文字が読みやすい。紙面のデザインが工夫されている。 ・議論の方法や自らの考えを整理する方法が「学びを深めるヒント」に示されており、言語活動がしやすいように工夫されている。 ・巻末に日本各地の伝統文化等が紹介されており、自らの地域のよさを自主的に探求できるように工夫されている。
6 使用上の便宜	・B5版。UDフォント使用。 ・読むことに困難がある生徒への配慮がある。
7 その他	
総合的な評価	【適している】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	道徳
発行者名（番号）・教科書名	Gakken（224） 新版 中学生の道徳 明日への扉
1 取扱内容	・学習指導要領の目標を達成する上において、各学年道徳的価値4観点、内容項目22項目を網羅している。物事を多面的・多角的に考え、人間の生き方についての考えを深められるように配慮されており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・全学年「キャリア」「多様性」「SDGs」に関わる学習を重視しており、教材が多い。 ・人間としての生き方についての考えを深めるため、様々な人物を教材として取り上げている。 ・長く親しまれてきた定番教材を扱い、人間としての生き方をより深く考えられる。
3 内容の程度	・難しい言葉の使用を控え、わかりやすい表現になっている。 ・学年によってより高度な内容を扱い、生徒の発達段階に配慮しているが、全学年通して文字が多く、読みにくい。 ・読み物教材以外のイラストや漫画を教材にしたものもあり、生徒が興味を持ちやすく、教材の内容を理解しやすいものがある。 ・中学生が主人公の教材があり、自分事として考えやすい。
4 内容の構成及び配列	・各学年オリエンテーションから始まるので、道徳の授業で何を学ぶのか。どう学ぶのかわかりやすい。授業の基本的な流れや学び方も学習することができる。 ・内容項目22項目を巻頭に配置している。 ・全学年「キャリア」「多様性」「SDGs」に関わる教材をユニット化して学習し、より深く学べるよう構成している。 ・巻頭に「いのち」「スポーツ」「いじめ防止」などのテーマとともに教材の挿絵がまとめられたページがあり、これから学ぶことをイメージしやすい。
5 創意工夫	・すべての題名の下に教材に引き込むような一言が添えられている。 ・登場人物や筆者の紹介があり、教材の読み取りに困難を抱える生徒や外国籍の生徒などもわかりやすい。 ・クローズアップというコラムページやデジタルコンテンツなど、情報が多く、話し合う時間を確保するのが難しい。 ・SDGs、IP細胞、スポーツなど、現代的で生徒が興味を持ちそうな教材が多い。 ・有名人や、話題になった方を多く取り上げ、生徒の興味をひきやすい。 ・今、中学生に人気の漫画を教材にしている。
6 使用上の便宜	・B5版より大きい。UDフォント使用。
7 その他	・挿絵がポップで親しみやすい。
総合的な評価	【適している】

令和7年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	道徳
発行者名（番号）・教科書名	あかつき教育図書（232） 中学生の道徳
1 取扱内容	・学習指導要領の目標を達成する上において、各学年道徳的価値4観点、内容項目22項目を網羅している。物事を多面的・多角的に考え、人間の生き方についての考えを深められるように配慮されており、適切である。 ・国内外の有名人のエピソードが多く採用されている。
2 内容の選択及び扱い	・全学年「いじめ」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会」に関わる学習を重視しており、教材が多い。 ・人間としての生き方についての考えを深めるため、様々な人物を教材として取り上げている。 ・定番教材を多く扱っており、人間としての生き方をより深く考えられる。 ・災害、病気、死、死別、人の悪意、社会悪などを扱う教材が多くある。
3 内容の程度	・難しい言葉の使用を控え、わかりやすい表現になっている。 ・現行の教科書より文章が短くなり、読みやすさが増した。学年によってより高度な内容を扱い、生徒の発達段階に配慮している。 ・読み物教材以外の詩や漫画を教材にしたものもあり、生徒が興味を持ちやすいが、学年が上がると読み物教材が増える。 ・中学生が主人公の教材が多く、自分事として考えやすい。 ・有名人を題材にしていたり、漫画になっている教材もあり、生徒の興味を惹きつけやすい。 ・写真が多く掲載されていて、イメージしやすい。 ・情報モラルについて考えることができる教材が全ての学年に掲載されており、連続して配列していること等学びを深める工夫がされている。
4 内容の構成及び配列	・授業のねらいを明確にした発問構成になっている。 ・オリエンテーションから始まるので、道徳の授業で何をすればいいのかわかりやすいが、そのページに文字が多く、取り掛かりにくい。 ・内容項目22項目を巻頭に配置している。 ・「キャリア」「スポーツ」「国際理解」などのテーマを巻頭に表記してある。イメージアイコンが添えられておりイメージしやすい。 ・全学年「いじめ」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会」に関わる教材をユニット化して学習し、より深く学べるよう構成している。 ・各学年とも、5月頃に「いじめ」ユニット、7月頃に「情報モラル」ユニットが配置され、生徒の生活を意識した構成となっている。 ・付録にSDGsとふるさとにまなびを広げるページがある。 ・4つの視点がマークになっていて分かりやすい。 ・実在する有名人を扱った内容が多く、生徒が興味を持ちやすい。 ・1つの教材文が比較的長めである。 ・「よりよく生きる喜び」の項目において、各学年3つずつ用意されている。 ・各教科や他教科の教育活動との関連から学習することができるようになっている。
5 創意工夫	・文字が太く、読みやすい。 ・QRコードで見られる映像コンテンツ、Thinkingというコラムページなど、精選された情報が掲載されている。 ・映像コンテンツは登場人物へのインタビューや実際の活動の様子が流れ、導入・終末の場面で活用したり、多面的多角的にとらえる手助けになったりする。 ・生徒が興味を持ちにくい話を漫画化し、教材の読み取りに困難を抱える生徒や外国籍の生徒などが取り残されないようにしている。 ・有名人や有名な漫画を1コマ取り上げ、生徒の興味関心を引く。
6 使用上の便宜	・B5版。UDフォント使用。
7 その他	
総合的な評価	【適している】

令和 7 年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	道徳
発行者名（番号）・教科書名	日本教科書（233） 道徳 中学校 生き方から学ぶ
1 取扱内容	・学習指導要領の目標を達成する上において、各学年道徳的価値4観点、内容項目22項目を網羅している。物事を多面的・多角的に考え、人間の生き方についての考えを深められるように配慮されており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	・長く親しまれてきた定番教材は多くないが、新しい教材が多く、生徒が興味を持ちやすい内容になった。
3 内容の程度	・難しい言葉の使用を控え、わかりやすい表現になっている。 ・現行の教科書より読み物教材が減ったが、1つの読み物教材あたりの文字は多い。学年によってより長文、高度な内容を扱い、生徒の発達段階の配慮がある。 ・読み物教材以外のイラストや漫画を教材にしたものがあり、生徒が興味を持ちやすく、教材の内容を理解しやすいものが多い。 ・中学生が主人公の教材が多く、自分事として考えやすい。
4 内容の構成及び配列	・各学年オリエンテーションとミニ教材から始まるので、道徳の授業で何を学ぶのか、どう学ぶかがわかりやすい。 ・内容項目22項目を巻頭に配置し、その順で教材を配置している。内容項目は生徒の先入観を避けるため、もくじには表記していない。 ・各学校の学校行事等に合わせて配列している。 ・ウェルビーイングカードが付録、自分がどのような価値を大切にしているかを意識し合う構成となっている。 ・巻頭に「いじめ・人権」「キャリア形成」「情報」「国際」などのテーマ別もくじがある。
5 創意工夫	・ウェルビーイングカードを使うことで、生徒が自分の考えを出しやすくなり、自己理解・他者理解が進む。結果、話し合いが活発になり、深く考えることにつながっている。 ・教材の読み取りに困難を抱える生徒や外国籍の生徒などが取り残されないよう、読み物教材を映像化したものが1つ、導入部分を動画にしたものが3つ、漫画や4コマ漫画で分かりやすく説明したものが11ある。 ・教材の最後の「①考えよう」「②深めよう」の内容で、深く考えることを促している。しかし、その表現が各学年とも少し難しい。 ・現代の中学生が向き合う課題をリアルにとらえた教材が多い。
6 使用上の便宜	・B5版より大きい。UDフォント使用。
7 その他	
総合的な評価	【やや適している】

